京城日報

十四日夕刊

發行所 京城太平通一丁目 合資會社 京城日報社
發行兼編輯人 奧田直毅
印刷人 小川三之介

◎獨逸の講和條件發表

華盛頓來電＝獨逸大使館の發表せる所に依れば獨逸は
一、波蘭及びリタウニン(波蘭の北方東普魯西と露領との境域地方)を獨立せしむる事
二、其他は總て戰前の狀態に復歸せしむる事
三、巴爾幹問題は講和會議に於て之を解決する事
の條件を以て講和せんと欲すと(紐育電報)

▲條件の內容と會議地

華盛頓の獨逸官憲は言明して曰く獨逸は各國の領土をして實際上戰前の狀態に復歸せしめ波蘭及びリスアニアの兩王國を新に建設し巴爾幹諸國の境界を整理し第二巴爾幹戰爭に於て喪失せる勃國の領土を復歸せしむるの條件に於て平和を提議すべしと猶合同通信社の探知する所に依れば獨逸該提議中には少なく共佛國及び白耳義より自國軍隊を撤退し塞耳維及び羅馬尼を一部分戰前の狀態に復歸せしめ獨逸植民地を返還すべき事を含み居れり又講和會議の開催せらるゝ場合に於ては海牙若しくはベルヌに於てせらるべしと信ぜらる(桑港電報)

◎株式大恐慌 當分立會中止

獨逸講和問題提出の結果大阪株式取引所は大恐慌を來し諸株忽ち大暴落せる爲め已むなく當分立會中止を決行せしが一兩日中に周圍の事情變化せざる限りは容易に立會開始を見るに至らざるべく綿布市場も亦大混亂を生じ株式從つて暴落せり而して此報一度傳はるや注文絕無となり一方諸株暴落の爲め人氣銷沈火の消えたる如く猶海外貿易關係者も呆然として成行注視の有樣なり(大阪特電)

◎移民法案と大統領

米國議會に於ける移民法案の討議に對しウヰルソン大統領は日本要求條件の保障なくんば假令同法案が議會を通過するも裁可せずと聲明せり(紐育電報)

◎特使來朝無期延期か

支那特使日本派遣は人選行惱の結果病氣の理由を以て無期延期となれりと傳へらる(北京電報)

◎東宮御還啓

東宮殿下には十四日朝八時十分京都驛發御還啓相成たり(大阪特電)

◎土方伯內府說

內大臣の後任は土方久元伯任ぜらるべしとの說高し(東京電報)

◎大道九鐵局長著任

新任九州鐵道管理局長大道良太氏は十四日午前九時三十分下關着列車にて著任せり(門司特電)

ツチヱ副領事マリン英國總領事レー米國副領事バツトラー佛國領事グランス露國副領事カーチスの諸氏にして久水外事課長侍立の上互に挨拶あり了て三鞭の盃を擧げ暫く雜談の上午前十一時一同退出したり

◎王家總督謝勞

閔李王職長官は李王家を代表し十四日朝長谷川總督を官邸に訪問十三日仁政殿に於ける午餐會列席の勞を謝し併せて當日の贈物に對し深甚なる謝意を表せり

◎總督新任挨拶

長谷川總督は十四日午前官邸に於て外國領事團員を接見し立花師團長閔長官等の來訪を受けしが午後一時高橋武官齋藤大島兩副官神田秘書官等を隨へ自動車を驅つて龍山に秋山軍司令官立花師團長を訪問新任の挨拶を爲せり

◎原田會頭歸任

東上中の朝鮮社長京城商議會頭原田金之祐氏は十二日東京出發十四日午後九時著列車にて歸任す

◎鮮銀調查局長

朝鮮銀行の調查局長は缺員の儘なるが今回函館稅關長井內勇氏就任する事に內定し氏は兩三日前依願本官を免ぜられ遠からず來任すべしと因に氏は久しく歐洲にも留學し內外經濟事情に精通せる人なりと

◎東拓社員宴會

松平川上兩理事は十三日午後七時より新任挨拶と懇親を圖る爲め社員約百名を朝鮮ホテルに招待し宴を張りしが席上松平理事より今後一層社員の奮勵を望み又社業に關し意見あれば遠慮なく申出でよと云々の挨拶あり足立殖產課長一同を代表して答辭を述べ十時散會せり

◎東拓所長會議

東洋拓殖會社の各出張所長會議は重役顏揃ひとなりし爲め年內開會の筈なりしも都合上明年一月に延期せりと

◎石原司事辭職

朝鮮銀行司事東京支店首席助役石原三郎氏は豫て辭表提出中の所兩三日前退職となりしが同氏は水越氏直系の人にて多分北海道拓銀の秘書役に就任すべしと

◎ハリス博士退京期

當地美以敎會の獻堂式に列席のため來鮮したるハリス博士は目下西大門外なるバンカー氏方に滯在中なるが來る十七日の日曜日には京畿道原州に赴き其より平壤其他に於ける舊知の人々を訪問したる上廿七日頃當地出發相州鎌倉なる自邸に歸る豫定也と

◎ウエルチ博士著任

ハリス博士の後任監督として來鮮したるウエルチ博士は今回愈美以敎會の朝鮮人傳道並に宣敎師監督としての任に就くことゝなりたるが住所は未だ定まらざるため來春迄朝鮮ホテルに滯在することゝなりたりと

◎平岩美以監督動靜

當地美以敎會の獻堂式に臨みたる後ち元山地方視察中なりしが十四日は仁川に至り更に十五日より平壤鎭南浦等に向ひ歸路京城を通過して大邱釜山等の各敎會を視察し二十日夜釜山出帆の連絡船にて歸東すべしと

◎講和說と經濟界 未だ輕信妄動を許さず

▲提議の次第

獨逸の講和提議に付三井物產本店より同京城支店へ十三日夜半著電外務省の公表を聞くに左の如し全文の大意本紙記載と大差なきも若干內容に注意すべき箇所あり又當局公表と云ふ點に重きを置くを得べし

十二月十二日獨逸宰相ベートマンホルウエッヒ氏は獨逸駐在中立國大使及び公使を招き平和談判に入らんとするの提議と共に若し敵國が尙ほ戰爭を繼續すれば同盟四國は責任を負はざるべき旨を含みたる同文通牒を發し敵國に通知せん事を求め次で聯合會の臨時會議を開き此旨を通告したり

▲露國は冷靜乎 未だ留變動なし

講和の提議同盟國側より出でたりとふ京城日報の報道は痛く一般の觀聽を惹ける模樣なるが朝鮮銀行にては十三日來各方面に飛電して其の影響講和說の出所等に付調査中なるが十四日午前東京支店よりの著電によれば獨逸講和提議說傳はり株式市場は大混亂を來し諸株崩落殊に郵船株の如き十二日三百二三十圓を唱へし者二百六七十圓に暴落し東京市場は遂に立會を中止せりとの入電あり內地財界混亂の狀想察するに難からざるが鮮銀某當局の語る所によれば這回獨逸の講和提議たる從來繰返されし講和說より根底あり又信ずべき節合のものと觀せらるれど其の結果に想ひ到れば諸般の事情は貴紙報道の如く今日聯合國が獨逸提議の條件に同意を表すべしと信ぜられず結局戰爭は永續すべきものと觀るを至當とすべし尙ほ十四日の露貨相場は同日正午まで何等ハルビン及び長春支店より入電なし或は何等の高低なきに非ずや然りとすれば露國が獨逸の講和提議を冷眼視し居れりとも解するを得べし云々(鮮銀當局談)

▲棉糸布界如何 復た跳ね返るべし

十三日或筋への入電によると既報の如く講和說の爲め東京に於ける綿糸布相場相立たずとあつたが、それは市場混亂を避くる爲め一時立會の延期を行つたものらしく結局夕刻に至つて棉糸は前日に比し現物一梱五六圓定期は十圓棉布は一反二三十錢方の暴落を演じたが、十四日午前の入電は更にはね反して十三日に比し米棉は二圓棉絲は現物二三圓定期六圓棉布は五錢乃至十錢の値上りを見前途強含みだと云ふ綿絲布の相場は世界的のもので其の高下に基づく講和說の揣摩は時局前途の一面觀として必らずしも捨て難い、某實業家は曰く十三日棉糸布が崩落したのは獨逸の講和提議が市場を混亂させた影響と觀るを至當とすべく一時市場は恐らく戰雲の霧消を念としたであらう但し其後の情報と四圍の冷靜な觀察は到底平和の日の到來近からずと云ふに定まり十四日の相場は十三日の暴落の半分を回復し而して先高見込とある之れ聯合國側が到底獨逸の提議を容れぬと云ふ世界の所見が一致したものであらう云々、又某商人は曰く十四日午前に於ける綿絲のはね上りですか、必らずしも講和絕望の爲めではない、吾々の觀察では平和の日が近く來ても棉絲棉布は決して下るまいと思ふ、何となれば(一)米棉の不作は動かすべからざる事(二)其の不作の米棉が平和到來と共に歐洲輸出必らず旺盛を呈する、乃ち歐洲に於ける棉絲布の需要は諸工業の蹶起的勃興と共に非常に激增を呈するからである、米棉のはね返しを與の見地より觀れば講和の時期の近づける事を證するやうでもある、十三日の暴落ですかそれは一時的の現象です云々觀察は正反對だが暫らく揭げて時局の推移を後日に見やう

▲仁川市場平靜

十三日前場大阪の下寄に次ぐに大暴落を報じたるが是獨逸より聯合國に向け講和を申込みたりとの本社特電に在りたる如く此講和問題が株式に影響し延て米界に波及したるは勿論にて仁川市場は前日大阪の暴騰に附隨せざりし丈今回の大暴落にも存外麗かざりしは仕手の關係とは言へ市場の人氣が株に索制せられ居らざるに依る者にして始終人氣にのみ著目せず正米本位として賣買し居るに依ると仁川市場が米山時代に在りて運輸の便又惡く貨物の停滯甚しきと買約定多く行はれ居るとの結果に外ならず今後に於ける相場の變動人氣の動搖は豫じめ知る能はざるも前項の如き事情にて大阪の大變動に比し大なる變動は望み難き者の如し云々と某當業者は語れり(仁川)

◎會寧間島輕鐵

間島在住邦人が過般來一齊に起つて其急務を叫びつゝある會寧間島間輕鐵敷設問題は目下其目的を遂行すべく組織せる輕鐵期成會に於て着々之れが調査を急ぎつゝあるが同問題に就て當初より多大の期待を以て目せられつゝあるは天寶鑛山にして同鑛山生產品たる原銅の搬出又た精鍊に要する燃料石炭の搬入上現在の運輸機關たる駄馬或は馬車にては到底其の輸送力を充す能はざるべきを以て或は獨力を以て輕鐵敷設の議あり殊に同鑛山に於て輕鐵敷設に就て便宜とするは同鑛山經營は過般支那より公式に日支合辦事業たるの許可を得居れるを以て輕鐵敷設も同鑛山の附屬事業として出願せば容易に許可せらるべきの見込みある一事にして然らざるに於ては或は日支合辦の形式を取り支那政府の許可を得る等煩雜にして困難なる事情を豫期せざるべからざりしが今回天寶鑛山經營者たる南滿太興會社々長濱名氏の事業視察として間島に入るを好機として期成會委員は同氏と會見し商議したる結果資金の大部分を天寶鑛山に於て支出する事として此速成を期する事に決定したるが其實行方法に就ては多くの便宜を有する濱名氏に一任し支那當局との交涉を開く事となり氏は局子街に滯留中道尹其他の意見を求むる所ありたるが此問題は目下の處著しく進展しあり從つて其實現も遠からざるものと豫想さる(淸津)

◎忠南稻作改良

忠淸南道に於ける水稻作付面積は十二萬五千町步にして內二萬五千町步は在來種の優良なるものを栽培せしめ殘り十萬町步の內五萬町步は早神力四萬町步は多摩錦一萬町步は石白の適地と認め早神力は明治四十四年より普及に著手し漸次其の作付反別を增加し大正五年に至り五萬町步に達せしむる計畫なりしが豫定以上に普及し五萬三千町步を算するに至り多摩錦石白は大正三年より獎勵に著手し多摩錦一萬町步石白二千二百町步を普及するに至れり既に右改良三種を合し六萬五千二百町步に達したるも其の實物を觀るに異種混淆し又は劣變退化したるものありて名實相伴はざるに至れるより之れを防止し且つ普及を促進せしむる爲め本年より論山郡夫赤面に四町五反步の原種田を設け之を道種苗場の事業に屬せしめ本年百石の種籾を得る見込なりしが豫想外の增收を見百七十一石を收穫せり而して之を大正六年に各郡の採種田及び地主會設置に係る採種田二百町步に栽培せしめ種籾六千石を得る見込なり又此の種籾を大正七年に於て一萬町步に栽培せしめ二十八萬八千石の籾を得る見込なり而して右の採種田より生產する種籾六千石と二十八萬八千石の籾の內優良にして種籾に適するものを選び極力獎勵を加へ大正十一年即ち計畫當年より七箇年目に於て豫定の十萬町步に優良種の純粹なるものを栽培せしむる計畫にして尙其の後も原種田を繼續し種籾を更新し米質の劣變退化の防止に努め以て米價の昂上を圖り稻作改良增收の實を擧げる計畫なりと(公州)

□春川より 鯨洋生

江原道は、山嶽を以て聞ゆ、京春間道路中、山水の佳美を集めしは新延江畔なり。水は淸く、山は秀で、頻りに行客の詩囊を、豐富ならしむ、夏時金剛山に遊ぶの、閑なき人は、來つて此處に遊ぶべし、敢て京城の士女に勸む。行き盡して、車を船上に乘せ、以て渡る。船は箱樣の平かなるものにて、車は客を乘せたる儘、悠然として、船に上れば、船は靜に岸を離る其の結構面白く、汗馬痴漢を乘するに非ず、鷁舟車を乘する處に大に妙あり。江を渡り、若干時にして春川に入る。春川は背後に峻峰あり、南方稍々開く、氣溫の比較的暖かなる知るべし。直に道廳、警務部其他に至りて、所要を了へ著宿。旅舘は展望好く、市街を脚下に見、近く前方丘上へ二三の洋舘と相對す。夕陽斜に、窓を射て、雞鳴頻りに聞ゆ、試に廊下に立てば、炊煙遠近に棚引き、連巒寒天に聳ゆ、一種太古の氣分滿つ、此の地蠻貊の首城、歷史は永劫に、遊子の心をそゝる。

◎京畿租稅等徵收狀況

十一月三十日現在に於ける京畿道租稅及び驛屯賭徵收狀況を聞くに左の如し

▲地稅 調定濟額三十六萬一千四百十七圓に對して二千八百六十二圓の收入あり未收入額三十五萬八千五百五十五圓にして此の收入步合は七毛なり
▲市街地稅 二十一萬三千九百六十四圓の調定濟額に對して十九萬九千四百三十二圓の收入あり收入未濟額は一萬二千九百六十五圓にして收入步合九分三厘二毛
▲戶稅 七萬三千四百七十七圓の調定濟額に對して七萬二千三百零七圓の收入あり未收高百七十圓にして此收入步合九分九厘七毛也
▲家屋稅 調定濟額八萬二千三百八十六圓に對して六萬五千九百八十二圓の收入あり未收金は一萬六千零三十一圓にして此收入步合八分なり
▲酒稅 九萬零百七十九圓にして七萬三千七百二十六圓の收入あり未收入金一萬六千三百三十二圓にして此收入步合八分一厘七毛
▲煙草稅 調定濟額二十九萬六千八百五十圓に對して二十九萬七百五十九圓の收入あり而して收入未濟額は六千零九十一圓この收入步合九分七厘九毛なり
▲鑛稅 三萬一千百三十一圓の調定濟額に對して九萬七百四十九圓の收入あり而して收入未濟額は二萬一千三百廿四圓なり此收入步合三分一厘なり
▲雜稅 調定濟額四千五百八圓に對して四千二百三十五圓の收入あり而して收入未濟額三百七十三圓にして此收入步合九分三厘九毛也
▲租稅計 調定濟額百十五萬八千三百六十八圓に對して七十二萬四千五百八圓の收入あり收入未濟額四十三萬一千七百四十一圓あり即ち此收入步合六分二厘五毛
▲所得稅 調定濟四千四百五十六圓に四千四百五十六圓の收入ありたり
▲驛屯賭收入 十八萬七千七百三十八圓の調定濟額に對して十七萬六千八百三十圓の收入あり此の收入步合九分四厘一毛なり

決せしも昨年末に際せるを以て明年早々實行する事に決せりと

大邱

▲慶北敎育會總會 慶北敎育會にては十六日午後二時より大邱小學校にて總會を開き大正四年度會計及び事業報告、役員選擧、其他協議をなし同四時より評議員會を開き大正五年度事業及び會計豫算等に就き協議すべしと▲大邱出入重要品 大邱稅關出張所の調査にかゝる大正五年十一月重要輸移出入品總額は輸移出に於て三萬三千三百五十二圓輸移入品に於て二十九萬七千三百九十五圓を示し輸移出に於て米、大豆、牛皮、肥料最も多額を占め輸移入品に於て綿織糸、生金巾及び生シーチング晒金巾及び晒シーチング日本木綿最も多し▲理事會終了 十一日以來慶北道廳樓上にて開會中なりし管內各地金融組合理事會議は十四日を以て終了せり

仁川

▲年賀郵便特別扱 仁川郵便局にては十五日より二十九日迄年賀郵便特別取扱をなすを以て特別取扱を受けんとする年賀郵便物は麻絲の如き緘を以て十文字に括りて此れを年賀郵便と記載したる紙を附し當局又は郵便所の窓口に差出すか或は電話一番に通知すれば集配人を差遣はす可く成る可く締切前に差出されたしと▲平岩博士講演會 仁川基督敎青年會にては十四日午後七時より日本メソヂスト敎會に總監督平岩博士の講演あり

大田

▲移轉延期 大田大神宮は僻遠の地にあるのみならず敷地其他の都合に依り何れかの地に移轉すべく大田協議會及び氏子總代等にて協議中なりしが同敷地として白石鐵二郎氏より其一部に充當すべき敷地寄附の申出ありしを以て是れを基本とし協議せしも其周圍地域買收に多大の金額を用し到底現今他に支出多き大田の財政として及ぶ所にあらざれば或時期迄延期する事に決せり▲橋梁架設計畫 新築小學校々舍と保育園の間は大東川流れ居る爲不便一方ならず依て是に架橋の議協議會に附せられたるに一同贊成可決せしが架橋費約六百圓の出所なく協議會長は會債を起す準備中なりと▲組合設立計畫 當地重立たる商店は先般富士家に會合し實業協會の田中書記長の臨席を乞ひ漸次膨脹しつゝある大田として商業組合なきは發展を妨ぐるのみならず物價の統一なき爲め支障百出するは遺憾なるを以て此際組合を設立する事を議したるが一同同感なるを以て直に可決したる

忠南靑陽より

十一月二十一日靑陽郡外數郡巡視の途に上れる上林忠淸南道長官を出迎ふ可く靑陽郡守等と共に靑陽邑內を發し定山面一泊翌早朝同所を發す霜氣肌に迫るも朝日照々として背に溫く爽颯云ふべからず新道の新に[illegible]朝日影木面安心里に至れば[illegible]二人更を騎らす一行に會す是れ長官の一行にてありける靑陽郡守先づ進んで挨拶をなせば長官又車を下り[illegible]して遠路の勞を犒ふ[illegible]一見長者の風あり[illegible]長官を迎ふ忠南人士[illegible]路直往定山に至り[illegible]分遣所長の出迎を受けて[illegible]一行は靑陽郡守の先導にて[illegible]伊藤旅館に休憩[illegible]面事務所を視察し憲兵出張所郵便所等を見舞ひ午後二時靑陽に向ふ定山、靑陽間四里九町[illegible]險道と云にあらざるも此間公州道路の一難關たる大峠あり三十度急勾配[illegible]として迴し自轉車、人車は固より徒步亦易からず[illegible]所長自己の乘馬を以て頻りに長官に勸む長官曰く多年林政に從事せし身はこれしきの阪は何でもないと[illegible]を提げて[illegible]と登る[illegible]元氣愛すべく[illegible]途次大峠巡査[illegible]出張所を見舞ひ大峠面事務所を視察し邑內面界にも內鮮官民學校生徒等多數の出迎を受けつゝ靑陽旅館に著したるは午後五時頃なりき[illegible]邑內は農產物品評會の開會ありて[illegible]日各面の觀覽團入込み人盛を過ぎしも人影[illegible]として所在に[illegible]ざるを得ず長官は旅館に少憩の[illegible]横はる[illegible]の古上城を見むとて[illegible]ばしたるも時已に暮色足下に迫り目的を達する能はず小學校林を觀察し[illegible]て歸舘せり(靑陽邑の住人)

人事消息

▲金久保第四十旅團長 ▲甲岡副官十四日朝退京
▲谷井濟一氏(文學士) 同上
▲向坂幾三郎氏(水原模範場技師) 同上
▲工業專門學校職員生徒一行六十三名 十四日朝南大門發福岡へ
▲長谷部憲兵大尉 十四日午前入京
▲城京城覆審法院長 仁川開城兩支廳巡閱の爲め十四日午前仁川へ
▲オースチン氏夫妻(米國陸軍將官) 十三日午後內地へ
▲山本忠美氏(組合牧師) 十四日旭町一丁目より北部岸子洞百七十二番地へ轉居
▲渡瀨常吉氏(同牧師) 十四日朝平壤より歸京

□靑島より 十二月九日 村田一夕庵
靑島市街の宮邁旅樂齋に
冬空や熊棲みして上厳洞

●若い樂壇の女神 待たる、其日 小倉女史の妙手

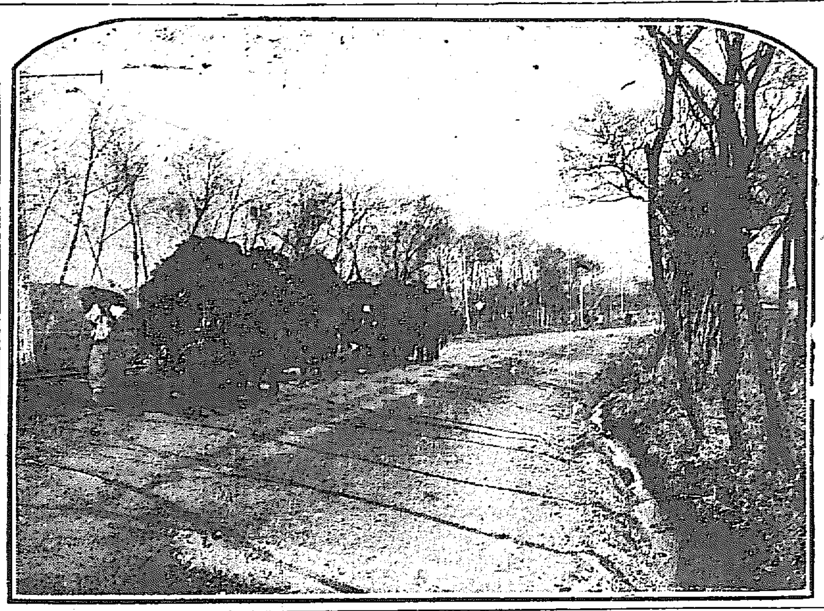
―京城外人樂團のスミス氏は斯ぞ語りつ

樂壇の明星よ！世界の音樂界の秘藏兒よ！と謳はれた小倉末子女史は愈來る十七日の朝京城に著いて十九二十一日の兩日其妙技を聽かさうとして居る此度の音樂會の趣旨が鮮人感化の傳道事業資金を得んためであるのと、出演の樂手が稀代のピアニスト小倉末子女史であるとは京城の好樂家は申すもおろか、西洋音樂の一度も聽いたことのない人までが今度許りは是非一度聽いて置かねばなるまいと湧くやうな人氣、其上昨今の市兒の好樂氣の影響も手助つて三圓から二圓と云ふ白券や靑券の切符を借氣もなく買込むものが多い分けで、西洋人の評判と來ては非常なもので、道は音樂の本場だけに演奏曲目を見た許りでその素人離れしたのに吃驚して居る

◆世界の『寳』です 京城には合唱團と云つて外國人間の音樂の好きな人達が組織した會がある其處の牛耳を取つて居るスミス宣敎師は曾て市俄古の或大學で文科を專攻する傍ら二箇年間音樂へ學んだ人で卒業後同地でも一流の音樂團に加はつて外人間にも相當名を知られた人……其人の話しによると西洋人は小倉末子女史の人物を知らないでも曲目を見た丈でも餘程の名人でなければ到底あれ程の曲は奏けぬと云つて居る實際朝鮮に來て居る西洋人の內で今度小倉女史が奏く曲目の一でも稽古をせずに奏ける人は一人もありますまい、若し練習をしても却々の大仕事であらうそれに小倉さんのはどんな曲でも譜本を見ないで自由自在に奏くと云ふのであるから全く驚くの外はない、小倉さんのやうな人は日本の音樂家と云ふよりも世界の『寳』として保護しなければなりません

◆お安い演奏料 外國では藝術家に對する崇敬の念が篤いからでもあらうけれど米國などで世界的な一流の人の音樂を聞かうとするには少なくとも一晩二時間半七千圓乃至一萬圓の演奏料を支拂はねばならぬ從つて入場も最低三圓から最高二十五圓位迄を徵收する歐洲とても大差はないと思ふ、それに今度の小倉女史のは一晩三百圓で入場料も朝鮮ホテルの方が三圓と二圓と云ふのであるからこんなにお安い入場料はありますまい、私しもこれで日本では十年近くも居り朝鮮に來てからでも早や三年になるが、こんな處で世界の音樂家の名曲を聽けるかと思つて小倉さんの來る日を指折數へて待つて居るです

◆『ピアニスト』の練習 樂器の方には天才的な人が多いか、樂器の方殊にピアニストとなると天才ばかりでは駄目です、小倉さんなど未だ二十五歲と云ふ若いお孃さんでありながら早くも世界の名人と云はれるやうになつたのであるがこれまで成るにはどれだけの苦心があつたであらうかと思ふ、まして曲と云ふ曲は全部暗記して演奏すると聞いて西洋人の私でさへ殆んど想像が出來かねる程に感心する、實際音樂の譜を見て奏くやうでは眞の妙趣を味ふことは出來ないので譜も歌も全部自分の頭にインタープレートし得た人でなければ眞の名人、大家とは云はれぬ、私はまだ小倉さんを識らないが定めて双方の手は非常に發達した筋肉を持つて居るに違ひない、そして必ず今日になる迄は十本の指の先が殆んど全部龜裂が切れたであらう指の肢からは赤い血が出たであらうと思ふ時にそこに何んとも云へぬ藝術の神々しい處がある、私しは此人と一緒に一曲を歌ふことが出來るのを非常に喜んで居ます。



町へ ―新寶り―

●哈爾賓市 養鷄會社の慘劇 門衛の印度兵と支那人の衝突

哈爾賓傅家甸南端の英商出口公司は俗に雞鴨公司と稱し支那人八百名を使用し盛に雞鴨等の家禽輸出を業とせるが去る六日午後五時某支那人は門衛の印度兵と衝突の結果印度兵三名を毆し機械工場を破壞したるより該行英人は大に驚き電話を以て露官憲に通告したるに露兵直に來りて逃走せんとする支那人を銃殺する事數十人に及べり露國側は英人の通告に依り其馬賊なるを信じて斯く擊殺したるものなりと辯解し支那側の憤怒は極點に達して目下濱江道尹より嚴に交涉中なり(哈爾賓特信)

●實兒を刺殺す

全北全州郡下伊東面表石里居後里居子職李錫弼(三二)は平素里內に於ても評判宜しからざる亂暴男にて親兄弟も氣を痛め居たるが去九日の夜居村李基弘の宅に於て賭博の果て些細の事より李弘基と喧嘩に花を咲かせ居りたるを實兒李俊弼(一三)が聞き込み直に基弘の宅に驅せつけ双方の中に割り入て錫弼を無理に引き出し同里たる母金姓女の宅に連れ來りしを錫弼は酩酊し居たる折柄とて是を非常に憤怒し直樣炊事場に驅け込み肉切庖丁を持ち出すや兄に飛び蒐り胸部を目がけて柄も通れと刺し通したれば俊弼は打倒れ絕命したるが錫弼は益々狂氣の如くなりて猛り狂ひ出刄を振り廻し大暴れの最中全州署より出張したる巡查及び巡查補の手に捕へられたり(全州)

●聯絡中止 六十五回

是から天候に脅かされる關釜間の航路 狂瀾を湧かす秒速六十一米突の颶風

平田仁川觀測所長の談に依れば近頃の天地陰慘を極めて風は氷を含むかとも思はれる程であるが此れは靑島及び京仁一帶を中心として十三日方面の低氣壓が緩漫に移動して來たからである、此の低氣壓は同夜少なの雪を降らし乍ら

◆日本海方面 に向つて進行し其れに入れ替つて十四日夜から北滿方面の高氣壓は凜々たる寒氣を齎らして朝鮮を縱に吹き捲くつて行くから此の險惡な空模樣が恢復するとして今度は大陸特有の朔北の風に見舞はれる次第である元來朝鮮の冬は南寄りの軟風が吹くと乾度支那の天津方面から凝結した冷雲が飛ふて來るが此の低氣壓が東に過ぎて了ふと紋切形にシベリヤの雪原を吹拂ふ

◆西北の風が 襲ふて來て空が晴れる其れが殆んど規則的に現はれるから妙で低氣壓も春夏は揚子江方面から東北に向つて南鮮地方を通過し冬は黃河流域以北即ち北京方面から東南に向つて進んで來るのが原則となつて居る其影響は關釜海峽が甚だしくて昨年に於て定期船の聯絡中止及び遲延は四十二日六十五回あつて其中冬期中北西風の爲めに十七回春夏中

◆濃霧の爲め に九回其他は海峽を低氣壓か通過した爲めである是れから追々寒くなるに從つて朝鮮は針を含む朔北の風が吹くが其の速力は三十五メートル位が强い方で一昨年の如きは六十一メートル即ち一時間約百三十哩の急速力を以て暴風を湛うした烈風が起つた。低氣壓の襲來を知るには素人觀測にも西の空に雲が無ければ晴れると言はれて居る樣に西方に眞綿を千斷つた樣な雲に續いて鱗の樣な雲が現はれたならば必ず

◆凝雲空を蔽 うと見て差閊へ無く若し雲が無い場合モク〳〵と群れ立つ雲が現はれたならば天候は惡くならないと定まつてゐる(仁川)

●弔慰料 千五百圓

壯丁列車衝突事件解決

東北線古間木驛附近に於ける壯丁列車衝突の慘事は原因全く驛員の怠慢に因るものと決定し死者に對しては鐵道院より弔慰料として一千五百圓宛を支出する事となり示談成り一段落を告げたり(東京電報)

●主人の金四百餘圓を引き出して豪遊す

京城南大門通三丁目松原東方に雇はれ居たる福岡縣糸島郡前原町生れの持田總五郞(二二)は前科三犯あり十二月九日主人の命にて本町三丁目の百三十銀行支店より當座小切手額面三百三十圓七十錢のもの及百七十圓二十一錢のもの二枚を以て現金を引出したるも之を主人に交付せず直ちに新町遊廓常盤樓に登樓し娼妓を敵娼として豪遊し五十餘圓を費消し居れる所を本町署の刑事に取押へられ取調べたるに前記の次第と判明し同署に留置取調べの上檢事局へ送られたり

●姑を殺さんとす

全北錦山郡秋富面要光里金完淑妻德順(一九)は豫て姑朴仁和(五〇)との折合惡しく同女を殺害せんと企て同里の吳八萬(三〇)及び同人妻楊姓女(三一)の兩名に其旨を明かし八萬をして大田市場より少量の靑酸曹達を買ひ求めしめ十一月十九日德順は仁和に對し他家より栗を貰ひたるを以て食すべしと同人の口中に件の靑酸曹達を押し込みたるも仁和が吐き出したるを以て遂に殺害するに至らざりしことを此程錦山憲兵分隊にて探知し前記三名を悉く檢擧したり

●妓生にモルヒ子

京城貫鐵洞大成旅館止宿中なりし金昌永(二七)は十月二十五日同洞居住の妓生孫眞紅に對し鹽酸モルヒネ小量を服用すべしと與へしも同女は之を飮用せざりしこと此程發覺し昌永は鍾路警察署に引致の上處罰されたり

●東洋紡績 倉庫燒失す

東洋紡績三軒家工場にてペスト豫防消毒中壓力强かりし爲めにビー倉庫より出火しビー、シー倉庫甲乙二棟を燒きたり損害等取調中(大阪特電)

◆映畫の影を逐うて

家庭との關係＝改良を要すべき辯士の說明

每週旗幟、廣告ビラ、繪看板によつて公衆の前にその差表を報ずる映畫は營業者の思ふが儘に、亦その理想通りに現はれてくるものであるかと言ふに決して然うではない然らばその

◆檢閱は 怎んな風に行はれてゐるかといふに探偵物にあつては犯罪の手段として日本の現在の社會に於いて到底企及し得ざる程の大袈裟の事は別に害なきものとして差止めぬが簡易な犯罪方法、即ち何人にても容易に之れを實行し得べしとの觀念を起させるもの、如きは一切撮影せしめぬやうにしてゐる、同時に殘忍な殺傷事件の如きものも公衆に惡感を催さしむるといふところから絕對に

◆禁止し てゐる、檢閱の手の最も嚴しいのは新派悲劇だが、日本の華族の家庭の紊亂を描いたもの、帝國の軍人の不品行といふやうなもの、嫁と姑との間に不和を生じ嫁に對する姑の冷酷無情なる仕打、悟ういふ筋のものは許さない、一番寬大なのは昔から一定の脚本があつて劇に上場されて來た舊劇物だが之れとても當局の手加減でそれ〳〵取捨される、總べて檢閱は風敎を害し公安秩序を

◆亂す物 でないと認めた限り成るべく許可してゐるがその標準は一般公衆に置いてゐるので學校生徒が見て必らず無害だとはいへないのみを出すわけにゆかぬから學校の生徒は活動寫眞は觀てはならぬといふ事になる、理想としては子供のみに觀せるための寫眞を一週一回位宛公開する事だが之れは經費の問題もあり營業者の

◆勘考を 要する所だが何れ早晩實現される事だらう、然して例の辯士の說明でも如何はしい點が尠くないので臨監の警官によつて絕えず注意されて居り、不穩當の言葉を使つた塲合には翌日呼び出されて叱言を言はれる事になつてゐる、尙又京城の活動寫眞は辯士にも映畫にも年一年と向上してゆく風が見えぬでも無いが、まだ〳〵改良を要すべき點は幾何もある、當局者の方針と相俟つて年の替ると共に著々實行されて貰ひたいものだと思ふ(おはり)

◎窃取して賭博

京城南大門通五丁目杉山某方同居熊本縣天草郡宮地村生れの理髮職金森萬吉(三二)は十一月十七日以降二回に杉山所有の赤皮靴一足(六圓五十錢)縮緬兵兒帶一筋を窃取して入質し龍山元町にて賭博をなして悉く失敗し居れる所を本町署の刑事に引致されたり

簾のうち

◆奈良梅の阿漕

◆十二日夜壽館で催された梅若連の忘年會は名にし負ふ大天狗小天狗の鼻比べだけに却々見物聽物であつた◆藤富士君簾內で壺阪を語る、大向ふから『簾を上げろ』とのお聲がかりは大成功、スケッチで顏を知られた堤冠笑君の忠四、段々場馴れがして來た、由良之助は上田來であつたが判官大に貫目足らず、腹を切つてからの息は今一と工夫◆日東商會の主人日東君の太十、節の立つた語り方、熱心だけに日を逐うての上達は感服の外なし、但し何れも地合も同じに語るのとチト喝き込む風あるは聽き苦し◆鬼十の白石揚屋、大分古くやつてゐるだけに見識を控への身振り藝當、いゝ所もあるが一向進歩の跡が無いのは少々心細い◆京城通信社長安藤君の朝顏、淨瑠璃を知つて居る人だけに味ふべき所あり、且つ語り口には既に定評あれど暗黑を手探りで歩るくやうな語り方は聽き苦し◆梅若君の志度寺、若い梅若君の絲にて長い詞を彼打たせての熱心だけに大受け、大暴れは腰氣よしの妙藥といふべし、併し志度寺は得意中の得意と見えて人物はよく活躍したが地合は絲を眼中に置かぬ風あり◆奈良梅君の阿漕、數年前逆櫓を聽いたときに比べると元氣が大分衰ねた、諸名人の型はそれ〳〵違ふであらうが床家はチト重々しいやうだ『ぼんよ、テモまあ大きう』は平凡、追從に云つたといふ心持見ねず◆平次、次郞藏の詞の遣取りは老巧、變化に富んでゐたが女だけに押し足らず、次郞藏が平次の素性を知つて自分の罪を悔ゐ夜なく〳〵綱を入れしは『それがし』と平凡に云つたは惡ろし、これは昔は兎に角、今の次郞藏の身の上から見ても『わたくし』といふ方よし、この『わたくし』を平凡に云ふは面白からず、少し思ひ入れが欲しい、少しく詞をひそめて云つて欲しい◆平次と次郞藏の詞の遣取りの中にもキメをつけて貰ひたい所二三箇所あり◆奈良梅なればこそ人物を分けて語るが素人があの位語つたら平次と次郞藏の區別つき難し、例は揭げざるが平凡に云つて了つたところ二三箇所あり兎に角途中の一人なる賀努老人の絲を苦にもせず、絲に合はせてアレだけに語つたのは賞取つた拵扮といふ外は無い(たぬき)

灯ともごろ

▲獨逸の講和提議の號外を見た岡本介石といふ人が十三日夕方筮竹をとつてクシャ〳〵とやると『雷山小過の不變』といふ易が現れた▲そこで介石氏端坐瞑目やゝ暫らくして曰く『ハハア‼此の卦の樣子では這回の講和は成り立たぬな、殘念ながら駄目でござるぞ。』▲湯ケ原から無佛居士に寄せた林一象氏の近信に曰く▲『人生に行藏あり、とせば今は睡象を隨員に加へ度き格に御座候▲蕉翁に句あり『旅寢して見しや浮世の煤はらひ』山家にも浮世の習ひありとてか今日は宿の女中連堂をからげ大笹ふりまはす樣おかしく候▲『煤掃きやこは緋緘の伊豆女』閑人の配當決して惡からず而も詩人ならざるを恨む此の際居士の詩嚢を損銀にて拜借仕りたく▲これより熱海に出で豆相を漢陽公園と心得大なるステッキを振り步く積りに御座候

●保險金を橫領 大同生命保險會社京城支部……

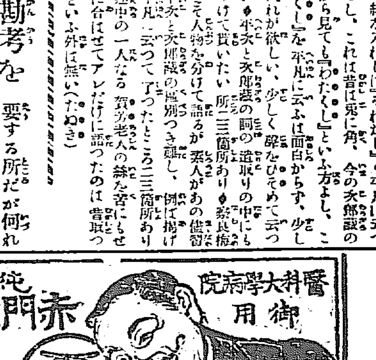
一部分は之を淸津會寧の各料理店と二丁目の精米所に雇はれ穀物の販賣及……貯金通帳を……

懸賞募集規程

懸賞募集規程 ▲用紙は端書又は……の洋紙一枚每に紙上の……の外に住所氏名明記の事

北又は風晴曇

お歲暮には實用向の御進物は
砂糖 ○樽詰○箱詰○上袋入○砂糖切手○
例年の通り大勉强仕候多少共御用命奉希上候
砂糖麥粉 製菓原料
京城南大門通り二丁目
(上) 上田商店
電話一五〇七番

醫科大學病院御用
純良 赤門葡萄酒

滋養補血ニハ赤門葡萄酒ニ限ル
大阪道修町小西儀助商店洋酒部
各地有名藥種洋酒食料品店にあり
朝鮮代理店
京城 新井大藥房 電話九〇四番 振替京城一〇六番
同 明治屋 電話二二二番 振替京城四四番
平壤 森田藥舖 電話一二九番
仁川 井上商店 電話八六番
釜山 本嘉納釜山倉庫部 電話三一一番
同 あつまや商店 電話三五八番

內科 小兒科
村上病院
京城永樂町一丁目(品商陳列館前) 電話六二三番
院長 醫學士 村上龍藏
副院長 熊本醫學士 松下三雄

鳩居堂恒例歲末年始用
新製香筆墨の御披露
香 筆 墨
黃菊 白菊 皇國の隆昌を奉頌して謹銘せり 包紙は竹內栖鳳畫伯の筆なり
新代 大政維新によりて銘し包紙は日下部鳴鶴翁の書なる五條御誓文を謹寫せり
國光 大正の聖代に合ひ國光愈輝ける意を寓し以て銘せり包紙は富岡鐵齋翁の畫なり
品質意匠は特に高級なる御進物として御好適と存奉候
定價 三種組合 桐箱入 壹圓
送料 內地八錢 臺灣樺太十二錢 朝鮮支那十二錢
京都寺町姉小路角 フリカヘ大阪六三八
熊谷鳩居堂
支店 東京銀座尾張町

新築 移轉
明治町二の卅
(元漢城病院下橫通 川崎大正醫院前)
產科 婦人科 專門
中央婦人病院
電話二三四番
手術室 病室 各等完備
院長 衣笠茂

鬼頭長太郎(三二)は保險(…)年七月下旬來淸津に來り去月中旬迄に淸津會寧間島其他沿線各地に於て保險募集に從事し殺保險金額約八萬圓に達せしに其第一回拂込金額の(…)に送られたり(淸津)

●圖太い仲買 京城長沙洞居住精米仲買業宋敬俊(三八)は蓬萊町二(…)迄に前後數回に亙り外數箇所より集金したる米代金合計二百六十七圓餘を拐帶消費し本町警察署に檢擧さる

人所有の額面八圓許りの郵便通帳一冊及び同人の印章を竊取し翌日本町二丁目の郵便所にて引き出さんとし

●女生徒が杵取つて 義士討入記念の餅搗き

鍾路小學校の催し＝十四日は講演會

師走の十四日は赤穗義士討入りの夜の當日といふので鍾路小學校では午後二時から記念會を開いた、會は可愛らしい

◆小國民を 四十七士にあやからせたいと云ふ主旨で鈴木校長が熱心に義士の物語を試みたのであつた此の日全校五百の生徒は可愛らしい尋常三年生以上が講堂に集り片唾をのむで先生の

◆おはなし を待ち設けたのであつた、校長のおはなしは小年少女にふさはしきやさしい義士の物語りで中には淚をさそうやうなはなしもあつた、先生のおはなしでは復讐といふことは不可ませんけれども四十七士のやうな

◆忠勇義烈 な精神と自分の身體を犧牲にして顧みぬといふ健氣な心とそして飽くまで節操を持してかはらぬ心と並びに用意周到なことは學ばねばなりません……との教訓であつた、そして大きな補習科の

◆女生徒に は討入當日の記念餅として十三日から用意した餅搗きが始まつた──尤も餅の方は女生徒が大人になつてからも家庭でお餅位は搗へねばなりませぬとの主旨で十三日午後から用意したのであつたが優しい女生徒が杵を持つてペッタンコ〳〵と

◆餅搗きを 始めるので友達同志笑ひこけた者もあつた併し校長先生は大眞面目で『女が餅搗位ゐ知らねとあつては何うもならぬ一生懸命にウンとお搗きなさい……』とばかり激勵し、糯米を蒸す者、

◆薪の火の 燃ゆ加減を敎はるもの、臼の中をこねかへすもの等何れもなか〳〵の大熱心で頻に手に餡が附くやら着物に白い米の粉をつけるやらでペタンコ〳〵は大賑ひであつた

新年の繪はがき

●小倉女史演奏會日取 十八日を十九日に變更

ピアニスト小倉女史の音樂會は十八九の兩日當地に於て開會さるゝことゝなり既に切符の大半は賣切れとなりたる大評判となり居りしが恰から大山公の薨去に遊び而かも音樂會の前日には國葬を行はれ音樂會の當日たる十八日は埋葬式を行ふとのことにて發起人中には寧ろ本年は中止し來春早々擧行せんとしたれども前記の如く切符の大半は賣切となり居れるのみならず折角湧立つた好人氣を外すは甚だ遺憾なりとし遂に設議の結果十九日二十一日の兩日に期日を變更し場所時間入場料共同一の方法により擧行することゝなり因に既に發行したる入場券は期日に一日の相違はあれども勿論何等の差支なく通用し得べきものなりと

◆食卓を飾る皿敷

春を待つ間を拔いてクリスマスやら目出度きに家庭での忘年會や歌留多の遊戲やらに樂しい食卓を圍む時が多くなりました

◆自作 の皿敷に卓を飾るのも心嬉しいものです、普通白サラシレースを用ひます始め鎖十編み元の目に引きぬきで止め小さい環を作り更に鎖三つ編み輪の中へ鎖共三十の長編みを入れ又引きぬきでとめ鎖五つ編むで目を一つ置いて長あみ一本鎖二つ編むでは一ト目置きに長編みの順で

◆一段 したら始めの鎖の三つ目に引きぬきでとめ新に鎖三つして今編むだ鎖二つの中へ長あみ四本つゝ一段續なして編みましたら引きぬきでとめ又鎖四つあみ今度は二つ

◆帽子 編みをしては鎖四つして一段したら二段目は同じく鎖の所へ帽子編でとめ二段終まで來ましたら鎖へ帽子編二つして鎖三つあみ元の目につけていぼを作り又帽子編二つして

◆次の 鎖も共通に總の八つの鎖の所へ殘してあといぼを皆つけましたら絲を止て切る、それで花繋ぎの皿敷の花が一つ出來た譯です。そしたら又其通りの花をもう一つ編みやはり

◆八つ 目のいぼの所へ來たら今度は糸を切らずに編み棒だけを離して以前の先へ編むだ花の總から三つ目のいぼの先へ編みを通して今編み棒をぬいた輪になつてゐる絲を引拔き一つ細して元の目につけ今迄と同じ樣に又

◆二つ 帽子あみ又次へ帽子あみ二つなし鎖一つして又編み棒をぬき今度は終から二つ目のいぼの先へ通し始めの樣に編みかけの環を引きぬき元の目にとめ帽子あみなして又次も都合三所で以前の花さ

◆今度 の花と表と裏が合ふ樣につなぎます、絲を切り又花を編むではつなぎ皆で十の花を丸くつなぎ合せます今度は花の中側一つ〳〵の花の五つづゝ殘して置いた鎖を捋つて鎖四つしては帽子あみでとめ

◆花の 繋ぎ目に來たら一つ前の目へ長編み二本入れ鎖なしに直次のつなぎ目へ又一本其次へも二本都合五本ましたら次からは又鎖四つしては帽子編で一段します其上は鎖二つしては長編み一本して一段終へたら引きぬきで止め

◆新に 鎖三つ編み、次の目(二つの鎖の所)へ長編み一本したら又鎖三つして今の長あみをすくつて同じ長あみ四本入れすぐに一つとむだ先の目へはすに又長編み一本入れ鎖三つして又今の長あみへ四本長編みを入れてゆきそれを一段したら

◆更に 鎖五つしては前の長あみの角へ帽子あみでつけ一段すむだら次は鎖二つしては以前の鎖へ長あみ一本づゝ帽子あみの所へも一つ置きに一本づゝ入れて一段したら二段目には鎖を一つにして下の段の長編の

◆間々 へ長あみを入れて二段目がすみましたらそれで出來上ります。これは美しい婦人內職としても外國へ澤山出るさうで上流の方達も餘暇を利用して作り愁藥卓菜にあてられてなりません。

讀者文藝 (一等には五十錢の商品券を呈す)

▼一口噺

○讀者『流逝から惡事が露顯したと』與太『莫迦だな行燈部屋に居ればいゝに』(一等) 義州 松月生

▲顏を大賣出しの看板を出した家を覗いた與太『ナーンダいつもと同じ所じやないか』 龍山 吾天公

▲甲『女性が旅行家になつたら成功するだらう』乙『なぜ』甲『お尻が輕いさうだから』 龍山 岡本小草子

▲教師『皆さんは身體を丈夫にせねばなりません』醫者の子『先生それでは私の父がこまります』 京城 森茂

▲甲『隣同士で仲が好くないと近所に嫌はれ易い』與太『シヤ俺の家は一軒家だから大丈夫だらう』 龍山 山家生

●長崎狩獵團來る 長崎市の好獵家三十餘名本月中旬を期し大邱を中心として附近に大出獵を試むべく是が地理案內方を長崎縣長より古川大邱驛長に依賴し來たりたるが大邱驛長は大邱を中心とし慶山倭舘地の好獵地たるを紹介したりと(大邱)

●唱歌演奏會 大田公立小學校にては來る十六日午前十時より埋立地劇場にて尋常、高等兩科各生徒の唱歌、朗讀、對話、琴等四十八番の演奏會ある筈にて生徒は一同熱心に練習中なり

神社とお寺と教會

○西本願寺(若草町) 十五日午後七時より宗祖聖人の御逮夜說教あり

○東本願寺(南山町) 十五日午前十時より御命日說教

△牡蠣のチリ 牡蠣は笊の中へ入れ旨水をかけて洗ひ水を切り昆布を敷いた湯豆腐の中に少しづゝ入れ煮立て熱い處を橙酢を醬油に混ぜたのを附けて食す汁も甚で濁ひ醬油酢を落として用ゆ

商況

深川在米特電

十三日前前	
朝鮮米	二〇、八四一
臺灣米	五三、九〇二
內地米	二四七、二四九

東京期米特電

十二日前場	二月限	後場
寄付	八、五一	—
高値	八、五五	—
安値	八、五〇	—
止め	八、五五	—

大阪株式特電

十四日前場 立會中止 後場 [illegible]

大阪期米特電

十四日前場	
當限寄付	一六、七九
中限寄付	一七、〇八
先限寄付	一七、三九
	止め

下關期米特電

十四日前場	當限	中限	先限
寄付	[illegible]	[illegible]	[illegible]
高値	[illegible]	[illegible]	[illegible]
安値	[illegible]	[illegible]	[illegible]
止め	[illegible]	[illegible]	[illegible]

雜報

●綿糸布返跳す(逸聞) 講和提議の說傳はるや市場は大混亂を來し十三日の前場は一時立會時間の延期を餘儀なからしめたる三品市場も後に至つて漸く立會を開始するに至り當日は米棉四十錢高を傳へたるに因み其後に拘らず人氣は講和說により…既に阻喪し來れる事と…

又大阪よりの入報なり當地實業家に於ても該問題の如何によりて影響を蒙むる大なる向少なからざる爲め各自電報を以つて內地に照介しつゝあるが未だ回答に接せざる向多きは吉報を期待し難多少の餘波は免れざるべしと心安からざるもの〳〵如し

●鹽鰊の近況 新物乘の七圓 八十錢圍物五圓三十錢

米鹽鰊の新物は既に神戸に到着せし物の如く昨今同地よりの商談には新物乘の七圓八十錢圍物五圓三十錢を報じ居れるが價格の高位なるを以つて當業者も之が買約に付ては大に躊躇しつゝあり新物は前記乘りで値を以つて採算すれば當地着の三十圓以上となり需要の大部分は平安道方面を目的とするにあれば更に同方面の諸掛費を加算すれば賣出し以上に販賣せざれば幾分かの利益を認能はず斯かる高値を以つては到底賣行きの見込み立ち難く一方には

◆北鮮鰊 且つ出廻り相當あり昨今にては當業者も北鮮鰊の需要を見込む方針にて多少關ひの需要を喚起しつゝある向きより

◆米鰊の輸入 は大形物四割五十錢より七十錢小形物三割見當にして目下賣行きは今一段引立たず

●生明太暴落 生明太は其後連日二百三百の入荷あり最近迄十錢處に賣買行はれつゝありしが十三日前元山近海の物約二百の入荷ありしを始め昨今の入荷多く賣氣の傾きにて

◆相場の暴落 五十錢より一圓二十錢處を以つて手放すもの多く品痛の傾きあるものも…

◆乾燥不良 關係上乾燥不良にして品物少なから相場は

◆上物三十圓

㊋森仲買店 仁川米豆取引所仲買人 仁川海岸町三丁目 電話店 [illegible] 本宅電話八三二番

裾物二十五六圓處

●生鱈初入荷 釜山より…若干の入荷あり朝來荷の分は…

下關相場

△朝鮮白米も軟弱 其後百叺の輸入に過ぎず…

●講和說と影響(時報) 諸物價の暴騰益々甚しく工業界は雨の後の筍の如く勢ひに乘じ天を衝くの勢ひなりしが一般商業界も講和問題の一變にして一大打擊を受けしは諸物價の反撥す…

●春高相場の準備 比較的衡界の意氣を保ちつゝ…

京城正米

△朝鮮一等米(當用)	十六圓七十錢
△同	十六圓八十錢
△同二等玄米(當用)	十六圓二十錢
△島致院大豆	十一圓七十五錢
△同	十一圓八十錢
△深川大豆	十一圓九十錢
△元山大豆	十二圓二十五錢
△同	十二圓三十錢
△宣川大豆	十一圓八十五錢

京釜線地方には過般來仁川筋の定期受渡米の買付及び其他實需筋の買附等にて各所共買荒し平澤の如き可成り保存米のありしも三井の大買付其他の手合ひにて殆ど在米の全部取引されたる模樣にて同方面は依然人氣强硬にて當地よりは容易に引合ふべくもあらざる…

南大門の廻穀

不料買氣進まざるとにより氣配は一層十五錢見當を皆へられ今朝は上玄十二圓二十錢方低位を示せり

烏山玄米	一一四叺
烏山玄米	一一五叺
鎭南浦糯	二六二叺
烏山白米	一五四叺
經州糯	二一六叺
水原白米	八四叺
小井里籾	八〇〇叺
成歡籾	一七〇叺
小井里玄	一〇五叺
金義籾	二八叺
軍浦場大豆	一二叺
西井里白	二八叺
一山白米	三六叺
新森香麥	三六叺
砂里院前麥	三四叺
仁川白米	一三五叺
平壤白米	一八九叺
烏山籾	二二叺
烏山白米	八五叺
金義白米	六二叺
水原糯	四二叺
黃州粟	五五叺
汶山白米	五〇叺
水原糯	九八叺
小井里白米	四一叺
平澤白米	八一叺
第山籾	七〇叺
長湍籾	一八叺
平澤糯	二七叺
軍浦場白	一二叺
金村白米	一八叺
平澤白米	八三叺
平澤籾	一五叺

仁川現物市場

▲朝入船あるも夜來の降雨にて浮揚陸せず氣配は變らざる見へ

▲正米同斷 ▲大豆同斷

仁川期米

▲十四日前場 寄十七 兵庫前 天候晴天

▲十四大阪前寄十七圓三十九錢昨止に二錢安の四十八錢入電一節四十八錢

▲高移 りなるも三錢三十九錢と押したるも大阪四節二十錢と一錢高にも押目は利食に新規に買物多く…

▲十八錢と尙安移り

▲大阪五節二十一錢

▲更に安移 りに乘せたるか九錢と下文へ七十錢と

▲大阪七節三十四錢

▲引返し 成行を示して散會

市場零聞

▲依然强硬 …大阪の賣らざる入電に…

▲買聲勝て遂に…

期米 仁川海岸町 米豆取引所仲買人 ㊥ 三田商店 賣買 電話 一五八 長一五九 電略(ヒ)又ハ(ヒラ)

▲下支へ となりたるが大阪の跳れて散會を告げたり市況は此處投げ…

▲戒 しめしたる者ならんか…

▲突込み賣 …

▲前場の手振 重なる商內賣方…

▲①能く賣る 今前場同店より…

▲㊐能く賣る 前場同店より…

▲巨大に買ふ 店より前場同…

▲㊦の商內 前場同店より賣りたる玉數四千餘石に上りたりとの事

▲㋐の商內 前場同店より賣りたる玉數五千餘石賣たる玉數四千餘石に上りたりとの事

▲保合動かず 此處年末に際し大阪の成行は餅搗相場の本領を能く發揮し場高下頻繁なる者あり今前場も十七圓三十九錢より四十八錢と跳ね昨日の安値二十三錢を下廻り二十一錢と新安値を報ずるや又三十四錢と跳ね返したる強弱ぶる人氣の動搖激烈なるに反し

▲當地の人氣は依然冷靜にて十二圓七十三錢より六十九錢で散會したり此間

▲僅々五錢巾に過ぎなかつた以つて如何に一般の人氣が締付居るかを知るに足ると同時に下値には新規有力なる買物の潜伏し居ると賣方の利喰急ぎの多きを思はしむる者

▲氣候溫暖 本年初冬の候より兎角不順勝にて…

▲拘らず當地は存外保合

▲大阪の變動大

▲巨の買に就き 商今…

▲賀田筋の買ひ…

確實 迅速 ㋮ 廣澤正次郎 仁川海岸町 取引所仲買人 (定期米賣買案內御報告第… 電話一六五番 六三二番

仁川米豆取引所 十四日の二月限

前場	
寄付	十二圓七十三錢
高値	十二圓七十四錢
安値	十二圓六十九錢
止め	十二圓七十錢
出來高	二萬九千百五十石

平均値段	
一節	十二圓七十錢
二節	十二圓七十錢
三節	十二圓七十錢
四節	十二圓七十一錢
五節	十二圓七十三錢

賣買取組高

十二月限	二萬七千七百石	
一月限	一萬三千七百石	
十二月後場	一萬八千百石	

前日比較 四安 二安 六安 六安

小賣白米

十二月限	二、六九
一月限	二、七二
十三日後場	二、六八
	二、七五

白米標準値

現金賣 一等白米	十六錢
次	十五錢五厘

靑物市場

十五圓四十錢

コイモ	二五	ヘクサイ	三〇
サツマイモ	二〇	タマナ	三〇
アカメイモ	二五	ミツバ	三〇
ツクネ	二〇	シンギク	一五
ナガイモ	一〇	ホウレンソウ	二〇
レンコン	二五	ナツパ	一五
ユリネ	二〇	シヤクシナ	二〇
クワイ	一五	ミツバ	二〇
ゴボウ	二〇	カイワリ	二〇
ニンジン	一〇	ウド	一八
ダイコン	二五	ワケギ	二〇
カブ	二〇	サヤマメ	二五
		キウリ	一八

〈演藝案內〉

櫻井町 大正館 電話八七三

本日活動寫眞株式會社朝鮮代理店

◎十二月十二日より提供の三大寫眞 ○實寫瑞西ベルン市の王城 ○滑稽ザヴイツドソン會社大傑作 ○探偵大活劇『呪の水車』全三卷六千呎 宗教界外の水車場異に潜み密かに惡魔一婦人に通じ…たる惡漢は名探偵の…まる探偵大活劇 ▲立花貞二郎關根達發合同出演○新派大悲劇『淚のあと』全三卷 ▲舊劇『血の池御殿』全三卷…

明治町 浪花館 電話二六〇

新時代の浪花節吉川今勝一行來る

◎每夜六時開演 本日よりの讀物 △義烈百傑(吉川都堂) △征韓論(吉川鐵舟) △熱田利生記(吉川容堂) △浪花錦昇 △實錄小栗判官 △精華義士傳、恨の拳銃、長講二席(吉川今勝)

早川直營 黃金館 電話二六三七

▲十二月十二日より差替特別大寫眞 ○日本寫眞伊勢鑑造水式 ○伊太利アムブロジオ會社特作品 ▲泰西大悲劇『淚の判決』全四卷 ○大正五年十一月九州に於ける陸軍秋季特別大演習實況 ○天活會社特別撮影 △舊劇木津勘助全四卷

本欄投書…一週間以內に到着又は同案發見通告の者には五十錢書籍券を呈す(但何書何號と明記に限る)

京城測候所 [illegible]

謹告

昨年本島產蜜柑貴地に於て試賣に附せし處多大の好評を以て迎へられ候段の盛況を至りに不堪候今年は愈々本會の決議に依り朝鮮は京城を主とし移出致す事に相成候就ては第一回品質精選の上拾七噸(石油函入五百卅箱)送達致し前記㊅藤岡商店を指定販賣致させ候間益々御愛需御好評あらん事を乞ふ

指定販賣店 京城南大門市場 ㊅藤岡商店

德島縣農會

拜啓 前朝鮮銀行理事水越理庸氏今回北海道拓殖銀行頭取に榮轉相成候に付明十五日午後六時より花月樓に於て送別會相催し候に付御贊同御出席被成下度此段得貴意候

一會費金五圓 當日御持參被下度候

一御出席各位へ 十五日午前中迄に京城商業會議所(電話二一二七番)へ御通知御願申上候

發起人(イロハ順) 石塚英藏 入江海平 原田金之祐 白完 荻谷籌夫 西村道彦 遠山熙 大垣丈夫 荻田悅造 高野省三 金谷充 馬詰次男 中村再造 韓相龍 足立瀧二郎 牧山耕藏 山口太兵衛 鈴木穆 阿部充家 古城菅堂 木村雄次

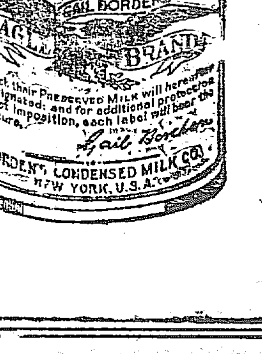
M印 大阪

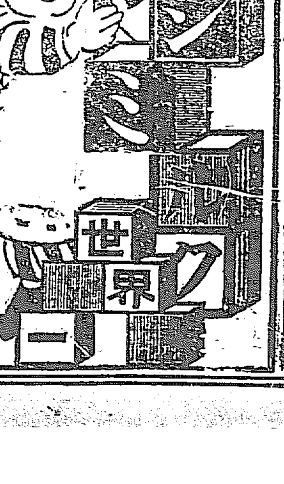
二ほまれ味噌 天下一品 ほまれ醬油 龍醬油 京城太平通二丁目 日本醬油株式會社出張所 (電話二四五番)

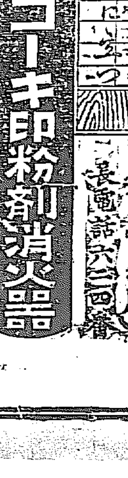
內科 小兒科 京城日出小學校前 多々見醫院 電話九四〇番 入院隨意

荒卷鮭 數子 鰹節 本場みかん 乾物 漬物 東京澤庵 發賣元 京城旭町一 刈川西商店 (電一三六七番) 地方よりの御送金は振替一番利用願上候

本場みかん 諸品製商に有之候へ共原產地買付品著荷中候爲め精々勉强可申候 產地出張精撰日々著荷致居候爲め多數御用命希上候







京城本町 熊平支店 電話六六三四番

明君道中記

第五席 田邊南龍口演

蛇は寸にしても、恐るべき猛獸である、是を恐れるは當然にして恐れざるを愚者かといふ、恐れべきものは何處までも恐れるのが自然の道理、我は幼くも主人であるから恐れるであらう。萬一恐れざれば恐れ入らして見せやうかといふ言葉であるから掃部頭は驚いてハツと其處へ平伏をしたが、心中に思へらく恐く此の君が三代の御世を嗣へれば徳川家御世萬々歳末頼母しき君であると甚く感心いたし、其儘其處を引退りました。恐ろしい君であるから實に竹千代君は凡ならざる御方でございます、けれど何分にも將軍御夫婦の思召に叶はないから萬一の家督除きにもなりはせぬかと御附の役人は心配をして居ります、中にもお福は常時御奥女中を取締り春日局となつて竹千代君の御側を離れず御世話をして居りますが、女性だけに痛く心を惱めて居ります。前にも申し上げた通り二代將軍家の御寵愛を受けたなぞとは跡方もないことで、丹後國從見郡井ノ口山の城主齋藤内藏助の娘で金吾中納言秀秋の家老稲葉佐渡守の妻となつて男女の子供を擧げた方でございます。然るに慶長五年關ヶ原の役金吾中納言秀秋は俗に云ふ日和見でございまして、何方にも附ずそれが爲家老の稲葉佐渡守は非常に心配をして主人秀秋を諫め、關東方へ導かして自分は抜ん出て第一番に江州佐和山の石田治部少輔三成の居城を突きました。是は秀秋がいたしたのでない、稲葉佐渡守の働きでございます、佐渡守は己れの功は誇りません、主人の命に依て石田三成の居城を突いたと偏に秀秋を施護まして、秀秋の評判の宜い様にいたしたのでございます。然れども斯ばかりに小早川の家に忠勤を盡しましても其の甲斐なく、秀秋は浪浪いたしてしまい、家は斷絶となる、稲葉佐渡守は世の中を果敢なく思ひまして京都の郊外に引籠りまして剃髪を攜へ而日から月日を消光て居る、此時に子供に指そわく知己の許へ預け妻に奉公に出し手習素讀の指南をいたして居る、時に慶長の九年九月江戸表に於ては初めて將軍家に若君御出生といふ、天下の慶賀を行はれる。スルト此時に京都の洛中洛外へ布令が出ました、

此度江戸將軍家若君御降誕に付可然素性正しき者をば御撰みに相成り乳母を御召抱へ候間望の輩は由緒書を添へて其筋へ願出べきもの也

と、京都所司代及び町奉行よりして洛中洛外へ布令が出ました、此時の京都の所司代は板倉伊賀守であります。スルとそれより三日經つか經ざる内に伊賀守の屋敷へ年齢は二十七八三十近い婦人が如何にも品格の良い、服裝綺羅でやかと云ふ譯ではございませんが、見苦しからざる扮裝にて小者一人を供に伴れ所司代屋敷の玄關へ參りましたから役人が其處へ出て

『此處は京都所司代板倉伊賀守の役屋敷であるがお前は何人であるか、婦人の來るべき所では無い、何等の用向があつて參られたか、又何と申す婦人で姓名は何と云はれるか』

と役の婦人が尋ねると婦人は頭を低げて『女、妾は京都東山の麓に浪宅を構へて居ります者でございます、此度所司代家より御布告の趣を承知いたし江戸表に於て乳母のお抱になるとのこと、夫婦相談の上罷出ましてございます』板倉の家來は彼が持参の履歴書を受取て重役へ告げる、重役からいたして所司代伊賀守へ申し上げる、板倉伊賀守は右の履歴書を取上げて披いて見て居たが、其の名を見へ呼び出せと云つたが此の婦人は如何なるものでありますか

院長 醫學士 森定吉
内科 小兒科
京城本町一丁目 瓦斯會社向側 芙蓉醫院 電話三六三番

石鹸化粧品 婦人小間物 卸商
月本政次郎商店
京城明治町二丁目 電話一一二八番

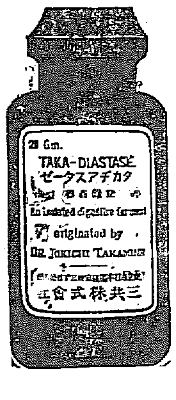
花柳病 皮膚病
須古醫院
京城府永樂町(商品陳列館通坂の上) 電話二一〇二番

十二月十六日 九星
舊十一月二十二日 丁亥
木命 六白 乾 閉 友引

月經困難を治す
月經不通を通じ
月經不順を調ね
月さらゑに一日丸!!!
一日丸
月やく滞りたる人直ぐ試み給ゑ ▲實に能く効く
本舗 名古屋市廣小路通 小林盛大堂
大阪平野町小林大藥房 東京藤井龍角散

こゑる藥

ニーゼータスアヂカタ
高峰博士創製の本劑は從來北米及英國にて製造の品を販賣し來りたるも今回本邦に其工場を設け純國産品となれり
類似模造品を本劑と同一强度又は同一効力ありと稱し販賣するものあり注意を乞ふ
本劑は粉末及錠劑の二種あり
本會社發賣のタカヂアスターゼは總ての胃腸患者に賞用せらる殊に本邦人に最も多き澱粉消化不良症に起因する諸症に用ひて卓効を奏し從つて能く其榮養を增進す
東京室町 三共株式會社



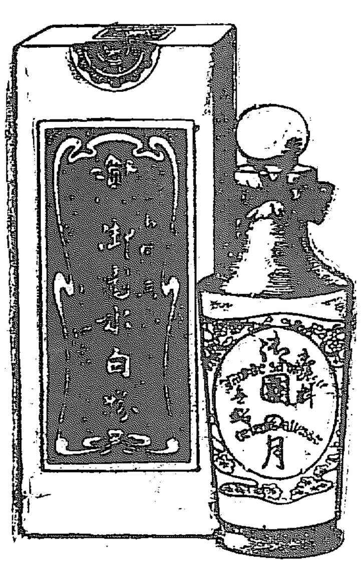
内科 胃腸病
診察夜九時迄
京城本町一丁目
石川醫院
電話一二三七・一九二〇九番

最モ優秀ナル淋病内服藥
ゴノチール
一容量(三十球、六十球、百球藥局用五百球、千球入)
○各地有名藥店ニアリ
○説明書ハ現品ニ添附ス
發賣元 大阪市道修町三丁目 藥種問屋 西村藥林社 電本局二四九一、振替大阪七五九〇

京城永樂町二丁目(商品陳列館裏門通)
酒井婦人病院
入院隨意
電話二六〇一・一〇八番

効能
逆上を引下げ便通をよくし黴毒其他諸毒を下す
効能で賣れる
七ふく ひゑくすり
本家七ふくや伊藤長兵衛

男の生殖器病
生殖器發育不完全で包莖、陰萎、早漏、遺精、夢精、勃起不全、交接不快、快感減少、腦神經衰弱等の人は自宅で簡單秘密に新案特許眞空療法器と因療藥を併用する時は一回毎に効力が現はれ豫想外の偉効に驚くべく知名博士も其實効を證明し實驗諸氏の賞讃湧くが如しハガキで申込あれば説明書無代で入目に觸られぬ樣密送す來所者には醫院部にて懇切説明す
東京神田かぢ町五 電話神田七二二番
東京 眞空療法研究所



御園水白粉
(定價 金二十五錢 金五十錢)
平生の身嗜み化粧振は、眞からの色白に見ゆる薄化粧が適當です、それには御園の月水白粉を用ひるに限ります、御園の月水白粉には純白と淡紅の二種があつて淡紅色は夜化粧乃至顏色の蒼白い人に向きます、使用法は初め白粉下御園クレームを擦込み、壜を能く振つて掌で塗伸すと美しく附きます。
本舗 伊東胡蝶園
發賣元 丸見屋商店
(84)

月の光の輝く如く
艶々と滴たる許りの美しさ
自然の黑髮其儘の色に染る
完全なるシラガ染はナイス!!

◀五大特長▶
■タッタ二十分で艶々染る。
■自然の黑髮其儘の色に染。
■洗ふて剝げず久しく保ち。
■硯、枕杯に汚染の惧なく。
■用法至極簡易便利也。

▲價▼
大瓶 金七十錢
小瓶 金四十錢
男子持 金三十錢

大阪 丹平商會 發賣
東京
小間物店藥店にあり

エグロン石鹸

歲末御贈答用に最も適當なる品は
東京で大好評の
エグロン石鹸
香が良くて肌を清かにする優良品
東京丸の内 藤原商店化粧品部
支店 京城黄金町二丁目

汽車時間

京釜線 南大門 龍山 永登浦 水原 成歡 鳥致院 大田 大邱 釜山 ……
[illegible]

京義線 南大門 龍山 開城 金川 新幕 黄州 平壤 新義州 ……
[illegible]

湖南線 大田 論山 裡里 金堤 井邑 松汀里 木浦 ……
[illegible]

京仁線 南大門 龍山 永登浦 仁川 ……
[illegible]

兼二浦支線 黄州 兼二浦 ……
[illegible]

平南線 平壤 鎭南浦 ……
[illegible]

京元線 南大門 龍山 淸涼里 元山 ……
[illegible]

京城日報
十五日朝刊（夕刊と合せて八頁）

本紙定價　一部金三錢五厘　一ヶ月金五拾錢(前金に限り)　三ヶ月一圓四拾五錢　郵税一ヶ月金七錢
廣告料　▲五號活字十六字詰壹行金八拾錢▲二號活字八字詰壹行金壹圓六拾錢▲三號活字拾字詰壹行金壹圓同上四號活字廿一字詰金七拾錢▲壹行金貳拾錢

京城太平通一丁目
發行所　合資會社　京城日報社
發行兼編輯人　奥田直毅
印刷人　小川三之介
電話番號　二四四・二五五・二〇〇・二〇〇・二二〇

講和說と我財界

京城日報

獨逸墺地利及び其同盟國が、聯合國に向つて、講和の提議に出でたる事を報じたるが、此事或は全然根據なき虚說にもあらざる可く、戰局が多少獨逸側に有利の狀勢を示すに於て、其の講和を提議し來ることあるべきは、吾人の豫期せざる所にあらざりき。最近羅馬尼亞に於ける獨軍の策戰功を收め、稍々其の勝味を此方面に得たる機會を以て、彼は逸早く講和の提議をなせるものなるべく、思ふに其の提議の、聯合國側に受け付けらるゝや否やは、獨逸の餘り關心する所にあらずして、唯だ此の提議そのものを、此の機會に於て策用せんとしたるものなるべく、然かも其の敏速狡猾は、甚だ〳〵に堪へたり。

假りに獨逸今回の講和提議が眞實の事とするも、聯合諸國は果して一致して之に耳を假すや否や。之を聯合諸國、少くとも英露佛三國の戰爭に對する現下の意氣込に見るも、到底今日の場合獨逸の提議に考量の價値を置くが如き事なかるべきは、殆ど吾人の信じて疑はざる所にして、若し此れに傾むくに於ては、功を獨逸に歸するもの、吾人は何の爲めに聯合國が、今日力戰奮闘せるやの理由を知るに苦しむべし。從て今回の講和提議說も、單に其の事實ありしを看過するに止まり、聯合國は一歩も假借せず、其の豫定の行動を繼續して飽くまでも、有終の勝利に向つて精進するならむ。

然るに外電一たび講和說を報ずるや其の我邦經濟界に衝動を與ふる甚しきものあり。十三日の內地財界は諸株暴落し、取引中止、棉糸布の相場立たざる等、十四日に至るも市場は大混亂の狀を呈せり。歐洲戰時中我邦の經濟界は稀有の殷賑を呈したる一方に於て、經濟神經は甚だ國際的に銳敏を加へ來れり。今回の講和說に於て、斯く迅速の影響を蒙むるに至れるは、一面より見て我國の經濟界が世界的優位に躍進せる反影として、之を喜ぶべしと雖も、單に獨逸側よりの講和申出でありとの報道によりて、市場の大混亂を來すが如きは、吾人顧みて我邦の經濟的群集心理の、太だ輕卒なる嫌あるに驚かずんばあらず。聯合國の之に對する意嚮が右とも左とも判明せざるに、敵の術中に陷りたるに同じからずや。我が日本が現下の戰亂に對して中立國の立場に居る時はいざ知らず。獨逸は當に我が敵なり。敵の揚げたる聲に驚ろき倉惶の狀を呈するは彼の富士川の水鳥の羽音に驚ろきたるに似て、見苦しとせざるを得ず。經濟心理は必ずしも愛國心を以て全然之を指導するに難しと雖も、大國民の經濟心理は、今少しく沈著冷靜且つ打算的なるを要す。敵の策に乘せられて常軌を逸し、敵をして北叟笑みせしむる如き狼狽の態度は、之を愼しむ所なかる可らず。

戰爭と兵器原料　獨逸の窮狀

獨逸の講和提起餘儀へらるゝが今歐洲戰の狀況を觀るに兵器原料の多寡及び其の補給の難易が戰爭の勝敗に重大なる關係あるを示せり。墺國が開戰後十七箇月間に百五十億發の小銃彈を使用せりと云ふに徴すれば蓋し思ひ半に過ぎん。英國は國內に於ける

△軍需品大製造の爲め凡ゆる缺乏原料の使用節約產額增進の途を講ずる等是等の施設宜しきを得たるに全國の重要原料を政府の管理に移し或は輸出禁止價格調節を圖り或は結果石炭、鐵、銅等は歐洲に於ける市價の暴騰に關係なく關係政府間の特別契約の下に聯合國に對し低廉なる價格にて輸出供給しつゝあり佛國は北部諸搬近主要鐵及び石炭產地を開戰後間もなく獨軍に占領せられ今尚ほ之を敵手に委しあるを以て平時國內鐵產額の約九割石炭產額の約七割を失ひたり加之獨軍の現に占領する地方はまた佛國內主要鐵工業地にして平時

△佛國內に存在する製鐵製鋼場全數の約七割を含有しあり故に佛國は二重の大打擊を受け英國の援助及び米國の鋼材供給により漸く補給を支持しつゝあり露國は銅を日本より亞鉛を英國より輸入する等不足原料の輸入も其額少からざるべきも完成品の輸入を主として努めつゝあるもの如し原料問題にて最も窮しつゝあるは獨逸にして同國の缺乏原料は綿或は硝石或はニッケル其他種類少からざるも就中最も困難を感じ居れるは銅なり多少の密輸入はあるべきも始めて少量なるべく銅の資源は一に開戰前より各種の形にて國內に存在せし銅を利用すると

△銅の代用品使用を勵行する等の方法あるのみなり同國は開戰當初より戰時原料課を設け後又金屬上納所をも設け最近又は軍事工業統一のため陸軍省に作業局を設け上げて新設收徴發等有らゆる手段方法を以て銅其他の原料の收集に努め居れるも漸次國內銅資源の涸渇は其形跡歷然たるものあり火砲用及び小銃用彈藥莢に敎鐵合金を採用の軍帽卸、卸壺類等の把手金等まで他の金屬に代へ國內の電線は鐵線に代へ教會の銅部品、扉の把手、揃斗の引手、洋燈の口金其他臺所道具、家事用具果ては商船廢艦の銅金具まで取外し皇帝は宮殿の銅瓦全部を石盤瓦に換へしめたり昨年末獨逸陸軍省の態々公表して國內に於ける

△銅の貯藏豊富なることを言明し代用金屬を發明せることを說き戰爭が銅の缺乏に依り終りを告ぐることなしと言明したるが如き窮狀を蔽はむと欲して却て之を暴露したる感あり獨逸は尚ほ燃料殊に石油に於ても少からず困難を感じ居るもの如く近頃にては自動車の使用の如きも極力へ勝になりしと云ふ然るに羅馬尼は世界有數の石油產地にして百七八十萬噸の年產額を有す獨逸が全力を擧げて羅馬尼を攻略したるは同國が羅馬尼の石油を熱望することも一原因なりと傳へらる獨逸は又ゴムの補給に窮し彼の米國に航行せる潛航商船ドイッチランドの積荷約七百噸は大部分護謨なりしと ―某將校談―

朝鮮木材界の前途

―騰貴は餘儀無からん―

齊藤營林廠長談

○今年春頃より東洋の木材界は一般に强氣を示し現に大阪、名古屋、東京、秋田、北海道の如き何れも二三割から五六割の騰貴を示したるにも拘はらず營林廠は朝鮮に於ける材價調節の任務を帶びて居る所からして今春以來僅かに一割五分內外しか上げて居ない

○然るに此頃に於ける木材界の强氣は非常なもので現に大阪市場の如きは近々又四五割の騰貴を示し各地の木材商は爭うて山へ入つて買出さんとあせる故山方の鼻息は夫れ以上に荒くなり非常高値にあらざれば手に入れ兼ぬる處からして日一日品拂底に苦んで居る

○其の他名古屋にしても東京にしても木材の拂底材價の暴騰は前代未聞の盛況で從來日本一の木材生產地たりし北海道ですら逐日原材拂底の度を高め現に道內製材工場の約三分の一は年末までに休業の已むなき窮境に在るとの報知を得た

○以上の現象は一時的のものであるまいか又空元氣が加つて居るのではあるまいかと色々に調べて見ると何うもそうとは思はれぬ木材の缺乏材價の暴騰は獨り東洋ばかりでなく歐洲も米國も南米も南洋も世界一圓皆然らざるなしと云ふ有樣で然も之れには堅い强い原因が根據となり其れから現はれた自然の結果と思はれる故に此處一二年間は低落どころか近き將來に於て一層の騰貴を見ることゝ思はれる

○然らば朝鮮木材界の前途は何うかと謂ふに是れ亦暴騰は免かれまいと思ふ何せかと云ふに明年の木材需要は軍の六萬尺〆(製材)を筆頭に隨分多額に上ることと思はるゝに反し朝鮮に於ける原木及び製材の手持品は營林廠に於ても又民間に在りても頗る貧弱である上に銀貨暴騰の結果は安東材の輸入も多量なるを得ざるべく又內地材北海材の如きも殆ど移入の見込なきこと前に述べた通りであるから結局供給は需要に伴はず明年の木材界は異常の强氣を生じ木材の價格は日一日騰貴に向ふことゝ思はれる即ち朝鮮の木材界は新年に入ると共に官も民も意外に品物の拂底なるに氣付き商人も需要者も俄に引張合と云ふ形勢となり內地に劣らざる騷ぎを呈するに至らざるか之れ予の竊に心配して居る次第である

日報俳壇

課題　△冬田(締切同十九日)△薪村居(締切同廿日)△炭竈(締切同廿五日)

(注意)一題に付一人十句以內、用紙は半紙型。本社編輯局日報俳壇係に宛て投稿の事

大阪期米(十四日)

[illegible]

第三版

仁川期米

[illegible]

△依然底强し　大阪後場安者なるも[illegible]

△今能く賣る　[illegible]餘石に上りたりとの事にて次に注目を惹いたり

△㋑能く買ふ　後場同店より買たる玉數五千餘石にて[illegible]一面千餘石の買ありたるも注目

△現物界　[illegible]

△銀氣配　[illegible]

商業登記公告

支配人解任
主人株式會社朝鮮商業銀行ハ大正五年拾壹月貳拾七日支配人池田庄五郎ヲ解任シタリ
支配人選任
支配人永敬ノ氏名住所京城府吉野町壹丁目百拾六番地淺見與四藏
右主人ノ京城府南大門通壹丁目拾九番地株式會社朝鮮商業銀行ハ京城支店支配人ヲ置キタル場所京城府古市町拾四番地
右大正五年拾貳月九日登記

商號　商號ノ取得
京城府北米倉町百貳拾壹番地古谷政次郎ハ大正五年九月貳拾壹日林誠二ノ使用スル商號「玄米製乳舍」ヲ營業ト共ニ讓受ケ之ヲ取得シタリ
右大正五年拾貳月拾貳日登記

京城地方法院

一、標石　參千六百七拾本
右請負ニ付詳細ハ當局ニ就キ承知アリ
大正五年十二月十四日
朝鮮總督府
臨時土地調查局

大活躍の新年號出づ
懸賞募集　十傑投票　其他痛快
記事滿載　一冊拾貳錢　送料一錢
附錄◎谷洗馬畫伯筆　名將軍和歌雙六
飛行機觀戰雙六
新少年
血湧き肉躍る
東京神田錦町　平和出版社　振替東京八七八

〓艶用銘鞄　最新流行之御用鞄　歳暮贈答品に好適
久しく耐久力に富み御使用に便利
二流品御照會次第説明書進呈す
東京芝區伏見町　製造　內田靴鞄問屋
電話芝一五五一◎振替東京一七八一七

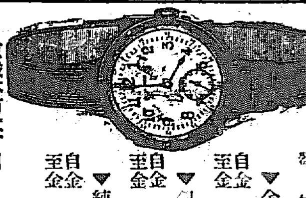
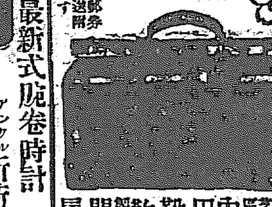
最新式腕卷時計
アンクル新荷着
▼金側　自金廿四圓　至金壹百廿圓
▼銀側　自金八圓　至金廿五圓
▼純ニツケル側　自金七圓　至金十五圓
其他眼鏡貴金屬品は當工場に於て製造注文は御引受可申上候
御遠方は代金引換小包便にて御送付可申上候
京城本町二丁目
村木時計舖京城支店
電話四七〇一
振替京城二九〇

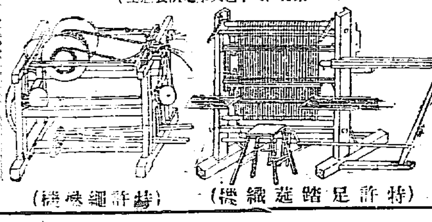
品質の優秀は
酒
醋
最後の勝利を獲得す
絕對の信用を博し
攝津灘新庄家
宮內省御用酒
若林合名會社
特約店　京城本町三丁目
山本富之助商店
電話五七五番

金質確實　純金指環　技術精巧
二匁五分付(牡丹)十八圓七十錢
四匁付(印章)廿六圓
二匁五分付(井切)十五圓七十錢
二匁付(亂菊)廿二圓五十錢
△千九百年巴里大博覽會賞牌
△明治四十年東京博覽會賞牌
△明治四十五年朝鮮共進會金牌
地方よりの御注文は代金引換小包郵便を以て迅速に御送品可仕候
糸岐商店
仁川本町　振替京城一七一　電話四一〇

船津式蓮織機械撚機
◎製造元船津工場◎販賣係中村勇
朝鮮大邱府八雲町四ツ角
(註文書にて御申込次第御送呈)
世界唯一の少資金にて利益の多き國家的副業
(特許足踏蓮織機)(特許蓮絲撚機)

吸入瓦斯發動機
一、英國ラストン、プロクター會社製
一、五十馬力
一、七十馬力　各一臺
一、十吋セントヒューガルポンプ(鑄鐵管數尺付)
外鑛山用クラッシャ機石油發動機等
五馬力より十馬力迄參臺あり
右安價に賣却致し度候間御希望の方は左記へ御照會被下度候
京城南米倉町八十一番地
諸機械並精米業所
安達商會
(電話一九一七番)



越
御進物として重寶なるは三越の商品券なり。
三越には暖房の設あり暖かきこと春の如し。

▼十二月十日より▲
◈歳末年始贈答品大賣出し
◈特製羽子板陳列
◈クリスマス用玩具陳列
◈三越好み履物陳列
三越呉服店
京城本町

登錄商標
小兒の友
舶來
人形印ミルク
母親の助け

敵國側虚勢を張る

講和を容れずんば飽迄戰はんと聲明す

アムステルダム來電=講和會議に提出せらるべき獨墺兩國及び同盟國側の條件は歐洲に於ける永久の平和を基礎とするものにして若し敵國にして此の提議を容れず依然戰爭を繼續せば同盟四國は最後の勝利を得る迄戰ふの決意を爲すと同時に戰爭繼續に對する全部の責任は全然之れを拒絶すべしと(倫敦電報)

講和提議と中立國

ウイルソン大統領爰傍觀の躰か

華盛頓來電=白堊館に於て傳へらるゝ所に依ればウイルソン大統領は獨逸の講和提議に對する聯合國側の應諾如何を知る迄は此の問題に就て彼れ是れと論議するを見合はすべしと、米國政府當局者の意見に依れば獨墺側が斯かる提議を爲せるはウイルソン大統領が此の際進んで講和斡旋を試むるの望無きを確信したればなり尚中立國外交官等は獨逸の斯かる狂言じみたる提議が講和成立の素因を作るものとなり得べきや否やに就き大に疑念を抱き居れり(倫敦電報)

萬一、講和成立せば

軍需品製造業者の打撃幾千ぞ

獨逸の講和提議が將來の形勢如何に依つて我國殊に軍需品製造業者軍需品貿易業者等に對し影響を及ぼすべきは勿論なるも萬一講和成立すとしても軍需品中武器彈藥等直接兵器の製造請負を爲せる者は之れが兵器製造に關する機械其他一切の必要設備を爲す丈の前金を受け取り居るを以て元金丈は損せず唯利益を見る能はざる迄なり次に軍需品中靴、羅紗馬靴等は製造高を見込みて原料を仕込み居るを以て各製造業者は大打撃を感ずべきも之れとて講和談判中若くは平和成立後に於て軍備整理上相當の註文は來るべく故に是等製造業者は直に倒産するが如き慘状には立ち到らざるべし唯原料の背負込となりて收益の激減を來すべきは免る可からず又化學工業品製造業者等は何時平和風の吹き來るなきかを恐れ何れも細心の注意を拂ひ且つ一面各化學製造事業は大に興らんとして未だ興らざる状況に在るを以て之れ亦甚だしき打撃を受くる事なかるべし之れに反し紡績業の如きは百萬錘近くも增加計畫の最中なれば講和成立すとせば支那南洋方面にて外國品と大競爭を爲さざる可らざるを以て之が影響は最も大なるべし(東京特電)

▲貿易は益々好調

株式の大暴落は一時の亂調子

獨逸の講和提議が我が國經濟界に及ぼす影響に就ては假りに平和回復すとするも我が貿易は依然昨今の好況を持續し益々輸出增加すべく即ち戰前我が國より輸出せる工業品は手工品大部分を占めしも開戰以來始めて機械製造品の輸出を見るに至り而も其の製品は少しも外國品に劣らず尚大戰爭の爲めに各國を合せ既に死者病者負傷者の數千八百五十餘萬人の多數に上り各國は是等の者及び家族等に對する手當其他の整理に要する資金の爲め租稅は增徴せらるべく又巨額の公債發行せられ之れを負擔する各國民の生計費向上する事必然なれば之れが輸出製造品は我國の製造品よりも高價なるべきは豫想するに難からず且つ我が國の勞銀は歐米より遙に低く加へて製造品の品質は彼れに比して劣らず且つ廉價なるを以て貿易上の競爭に於て何處に赴くも決して後れを取るべきに非ずされば輸出貿易は益々增加するものと認めて可なる可し昨今株式の大波瀾あり又講和説の爲め大暴落を見たるも這は單に一時の亂調子に過ぎず實際は依然として何等變動無く要するに國家全體の上より見れば我貿易は益々發達を遂ぐべしとは一般有力なる實業家の稱ふるところなり(東京特電)

民情と財界影響

平壤府參事會諮問答案

府内の經濟界に及ぼす影響如何(三) …び貨物の停滯甚しきものあり之が…

…對する答案は寺内伯が總督より總理…の民情を聽取するの旨意なるが右に…

…歡迎之れを歡迎せざるべからずと雖…迄もなく實に十三道の舊知己として…

…稀有の現象なれば先市況の恢復と見…り(平壤)

佛内閣改造と國防會

巴里來電=佛國新内閣は略ぼ英國の其れに倣ひて改造せられたり改造内閣は國防會議を組織し會員は六名の閣員より成るべく今信憑すべき豫想に依ればブリアン氏(現首相)リボー氏(現藏相)リオーテー將軍(不明)ラカーヅ將軍(現海相)パンルヴエ氏(現文相)トーマ氏(現軍需品大臣)の六氏其の議員たるべく他の閣員には著名なる政治家任命せらるべしと(倫敦電報)

ニベユ將軍の轉任

巴里來電=ニベユ將軍(ヴエルダン司令官)は北部及東北部佛軍司令官に任命せられたるが之れ佛軍高級司令部改革の第一歩なり(紐育電報)

熊希齡氏特使任命

支那政府は十三日大總統令を以て熊希齡氏を特派專使に任命し我天皇陛下に最高勳章を捧呈せしむべき旨發表せり(北京電報)

滿洲發著貨物(上)

十月中輸送狀況

十月に於ける滿洲發著貨物の總輸送數量は二萬五千二百二十四噸(局用石炭七千三百卅二噸を除く)にして之を南北行に分ち前年同月に比較するときは院局線發數量八千七百六十二噸は三千六百九十噸南滿東清線發數量一萬六千四百六十二噸は三千五百二十二噸の增加を示せり今發著線別の輸送數量を見るに次の如し

		前年同月比較	
北行			
院線發南滿線著貨物	二、四五九噸	同	二六三增
院線發東清線著貨物	四二二	同	三六三減
計	二、八八一	同	一〇〇減
局線發南滿線著貨物	五、八三八	同	三、九〇八增
局線發東清線著貨物	四三	同	一一八減
計	五、八八一	同	三、七九〇增
北行計	八、七六二	同	三、六九〇增
南行			
南滿線發院線著貨物	五五四	同	五〇七增
東清線發院線著貨物	二	同	二增
計	五五六	同	五〇九增
南滿線發局線著貨物	一五、八五三	同	二、九六〇增
東清線發局線著貨物	五三	同	五三增
計	一五、九〇六	同	三、〇一三增
南行計	一六、四六二	同	三、五二二增
總計	二五、二二四	同	七、二一二增

貨物

一、院線發南滿東清線著貨物 右貨物輸送狀況を仔細に觀察するに南滿線著數量二千四百五十九噸にして前年同月に比較するときは二百六十三噸を增加し輸送旺盛なりし前月より更に一段の好成績を示せり自下滿洲各地共商業期にして例年輸送殷賑の月なるが殊に本年は(一)滿洲農產物の豐收なりしが上に之が相場の緊張に依り農民の購買力頓に增進せしと(二)銀價の稀なる高値を示したる爲綿糸其の他一般輸入品高價なるに拘はらず市場の賣行好況なること(三)東清線に於て輸送力不足の爲め引受數量に甚だしき制限を加へたるに依り同線行貨物が長春打切扱と爲し又は長春以北を他の運送方法によりたる爲長春著貨物增加せること右增加の主なる原因なりと見るべし、之に反し東清線著貨物は本月に入り俄然減退を示し前年同月に比較するときは三百六十三噸を激減せり這は東清本線に於て軍需品輸送の爲め貨車著しく拂底を告げ寛城子及び長春に於て堆貨山積したる爲前述の如く引受輸送數量を制限せるに依る輸送品種の重なるものを擧ぐれば次の如し

品目	南滿線著	東清線著	計	前年同月增減
和酒	六九噸	五噸	七四噸	七增
鹽干魚	七一	二	七三	八增
綿布	一、二三三	九二	一、三二五	三六七減
綿絲	四二四	三五	四五九	一三四增
絹綿布製品	一二〇	一二三	二四三	五增
金屬器物	三四	二八	六二	四三增
革及び製品	四〇		四〇	三二增
紙類	三九	二	四一	一六增
燐寸	三三	二二	五五	五五增
洋蠟	一五九		一五九	一五九增

▲綿布 依然輸送品類い首位を占むるも東清線著數量は輸送制限の爲め著しき減退にして夏季以來毎月四五百噸の輸送ありたる本品が本月は僅に九十二噸に下り前年同月に比較するときは實に四百十一噸の激減を爲せり又南滿線著數量は一千二百三十三噸を算せるも前年同月に比較するときは百五十六噸の減少なり局綿商と消費市場好況に依る商權も銀相場の奔騰により格別障害なく賣行捗々しかりしに斯く以上の如きは内地供給市場に於て各方面の生產に追はるゝと滿洲行綿布中最多數の需要ある大尺布は昨年の不況に鑑み製造會社は需要旺盛なる南方仕向けに適應せるものに機を改めたる爲供給不足となりたることを主なる原因と見るべし本品の主なる仕出地及び仕向地別數量を見るに仕出地に在りては大阪七百三十噸を最多とし阿濟二百三十三噸之に亞ぎ四日市名古屋何れも七十噸内外なりとす仕向地に在りては從來哈爾賓は長春に比敵する多數の仕向地なりしが本月は僅かに九十二噸にして長春四百三十二噸とす其の他鐵嶺著も百噸以上にして之に亞ぐ奉天は二百五十九噸の著荷ありたり

▲綿糸 東清線著は綿布と同樣著しき減少を示し殆ど南滿線著にして其の數量四百五十九噸とす重なる仕出地は大阪二百十五噸名古屋桑名神戸何れも七十噸内外にして仕向地は長春百三十四噸奉天七十五噸なりとす

▲綿糸布製品 南滿線著數量百二十噸東清線著數量百二十三噸の輸送ありたり東清線著數量が南滿線著を凌駕せるは本月々末迄輸送制限なりしも甚瓦扱に依るもの多數なりしに依るも其の數量は前月の半數に達せず

▲洋蠟 本年八月より出荷し以來好況にして本月の如きは百五十九噸の輸送あり總て大阪より長春に仕向けらるゝものとす

▲燐寸 東清線著のもの從前著なりしが浦鹽の滯貨夥しく同港に輸入するも前途の輸送捗々しからざる故露國政府が後貝加爾州に輸入するものに對しては明年七月一日迄無稅輸入を許可したることに依り相應出荷を見たるものならん又南滿線著のものも…全部長春に仕向けらるゝものとす

▲出願と許可鑛種

出願件數激增 本年一月以降十一月末に至る鑛業出願件數は二千六百九十一件を算し之れを前年同期の出願七百三十三件に比すれば三倍半又た戰前一箇年間の出願約六百件に比すれば四倍半の何れも激增を示せり鑛業出願件數激增の原因に就きては素より種々ある可きも(一)歐洲戰亂に依る鑛物市價の昂騰(二)四月一日より施行したる朝鮮鑛業令に依り新に十二種の鑛物を增加したること(三)稷山鑛業株式會社が其の特許地に對し朝鮮鑛業令に依り七十一鑛區の鑛業權を設定すると共に特許を拋棄したること(四)コールブランボストウイツク、デベロプメント、コムパニーが朝鮮鑛業令施行以前協約に依りて十六鑛區の選定出願を爲し許可を得たる等其の主因也

▲許可數及鑛種 而して同期間に於ける許可件數は六百七十件にして之を前年同期間の許可件數三百八十件に比すれば約二倍の增加を見たり這は鑛業出願の增加に伴ふ結果に外ならず、今其の許可件數を鑛種別に示せば最も多きは金鑛にして二百二十一件を占め砂金の百六十五件之れに次ぎ黑鉛鑛五十一件タングステン鑛三十三件、鐵鑛及び金銀鑛各卅件、硅砂鑛十六件、金銀銅鑛十四件、銅鑛十一件、亞鉛鑛、金銅鑛、銀鉛鑛、金銀鉛鑛、金銀銅亞鉛鑛各八件タングステン水鉛鑛、金銀銅鉛亞鉛鑛各七件にして石炭鑛金銀銅鉛鑛は共に六件其他三十三件なりとす

輸送制限と釜山

下の關に於ける停滯貨物處理の爲め鐵道院に於て十一日以後朝鮮各地經由貨物は一日三百噸以内と制限し内釜山地發貨物は六十五噸の割當にて從來百二十噸なりしに對し約半數に當り斯くては現在停滯貨物を容易に輸出し能はざるのみならず之れが爲めに資金の融通を妨げ或は交換を失するの虞なきを保し難しと爲し當業者より釜山商業會議所へ之れ等の事情を陳べ救濟方を願ひ出でたるを以て同會議所は十三日附を以て後藤鐵道院總裁木下鐵道院運輸局長並びに野村西部管理局長に宛て左の電報を發したりと(釜山)

釜山發鐵道院線上り方面行貨物目下五千噸を算する爲連絡船一日積物三十噸内外より積めざる爲當業者の困難其極に達す年内一日平均二百噸以上輸送方是非共御措置を仰ぐ

浦鹽禁輸と委員

浦鹽輸入禁止令撤廢運動の爲め東上せる浦鹽商工商代表委員太田良三郎外三氏より釜山商業會議所に宛て九日附左の書面を送り越したり(釜山)

拜啓過般來浦港禁輸問題に付上京當局者に向ひて之れが撤廢運動中の處幾分の効果有之候か自然結果が殆ど骨抜と相成り有力なる除外例は設けらるゝ事と相成御地產米穀の如きは何等の影響なき事と相成候間御安神被下度尚船會社より發行する貨荷證券の摘要欄に危險スタンプを押捺する爲め荷爲替に他に不便を感じたるに付昨八日遞信省及び郵船會社に交渉せし結果何等の摘要を設けず單に念書のみにて足れる樣に承諾致させ候に付御承知相成度候私等一行も最早運動の要なく候に付一兩日中引揚げ可申候(以下略)

鐵道營業成績

十二月上旬に於ける朝鮮鐵道運輸成績及び直營倉庫成績左の如し

客車收入	一三八、九二二圓	三三、七一七圓
貨車收入	一七六、一四二	一八、三四一
運輸收入	三一五、〇六四	五二、〇五八
一日一哩平均收入	二九圓五五	三圓四二
倉庫入庫	五、三三六五噸	二、四四一噸
同出庫	四、一一五	二、二八六
同收入	一四七圓八二	一一四圓三七

清津本年貿易狀況

清津港本年の輸移出入貿易額は一月以降十一月までの累計輸移出四十一萬七千二百五十六圓輸移入二百二十七萬三千三十圓合計二百六十九萬二百八十六圓にして之を前年同期に比較するに輸移出に於て二十四萬三千八百八十四圓輸移入に於て五十八萬六千八百八十八圓計八十三萬七百七十二圓の激增を示せるが特に輸移出に於ては隱元豆豌豆等の農產物開鰐、乾貝、魚肥等水產物の生產著しく增加せる爲め長足の發展を見之を兩三年前の輸移出年額數萬圓に過ぎざりしに比すれば驚くべき增加と云ふべし(清津)

鮮銀總裁消息

美濃部鮮銀總裁は三島理事會根秘書役を隨へ十二日東京より大阪へ下り十三日より十五日迄阪神兩地に就任披露の宴を張りつゝあるが十六日出發十七日夜入京すべしと

鐵道長官訓示

大屋鐵道局長官は十三日局員一同に對し漸次嚴冬に向ひ火氣の取扱ひ益々頻繁ならんとす各員一層之れが取締りを嚴にし萬一の過誤なきを期すべしとの訓示を發せり

購買

釜山府廳にて植林用黑松二年生十六萬本、エセアカシヤ一年生八十本を競爭入札を以て購買する筈にて入札は十二月二十二日午前十一時即時開札すべしと

社告

過般京城に開會の全鮮新聞社聯合大會に於て新聞原紙及諸材料暴騰に付き各社代表者協議の結果新聞代値上げの件決定就ては大正六年一月一日より

▲京城日報 壹箇月 定價金五拾五錢

に改定致候此段愛讀者各位に謹告仕候也

(社名いろは順)

大正五年十二月十五日

北鮮日報社 鴨江日報社 咸南新報社
南鮮日報社 群山日報社 京城日報社
元山每日社 京城新聞社 釜山日報社
光州日報社 湖南日報社 朝鮮新聞社
朝鮮民報社 木浦新報社 西鮮日報社
全北日日社

人事消息

▲河内明雄氏(鐵道局技師) 十四日朝退京
▲近藤九一氏(貿易商) 十四日入京二見旅館へ
▲大谷正之助氏(釜山稅關監視官) 十四日夜退京
▲新橋榮次郎氏(滿鐵囑託) 同上

南言北語

故大山公の葬儀は愈々十七日國葬と決定した相な、洵に結構な事である▲公に就ては生前澤山逸話があるが鳥渡人の知らぬ處をお話せう▲明治二十二年の紀元節憲法發布式の當日文部大臣森有禮子が西野文太郎の兇刄に斃れた時總理大臣黒田清隆伯は一時其後釜を陸軍大臣であつた大山公に兼任して貰ひたいと相談に及んだ▲處が大山公は『文部は學者でモット私よりも偉い人でなければ勤まりますまい、どうか他の人に聞いて下さい』と刎ねつけた▲けれども總理は『既に閣僚相談の上でもありホンの少しの間だから忍耐して承知して呉れ仕事は次官がヤルから心配は無い』と云ふと▲大山公は『ハー判りました、どうせ間に合せだから大山でもよからうといふ皆さんの審議でしたか宜しいそれでは海軍の西郷の樣に毎日々々盲判さへ捺して居れば事が濟むのですね』と思ふ存分イヤ味を言つたりして充分に念を押したりして承諾したといふ咄しもある▲公も若い時は隨分馬鹿な真似をやつて他を笑はせたもので それが實に奇想天外だから面白い▲ナンでも兵部大丞の頃大山の痘痕面生れてから女に惚れられた事があるまいなどと同僚に冷かされて居たが或時の宴會に公はソコ〳〵座を起つて下座敷へ行つたので何か急用でも出來たのかと思ふて居ると、コハいかに飯粒で十錢金貨をベタ〳〵顏へクツつけて上つて來た▲之には一同吹出したが藝妓共がキヤツ〳〵面白がつて側へ集まると公は之れ見よとばかり『どうぢやい、藝妓共が惚れるぢやらう』▲公の亂暴はまた有名なもので老西郷などと一緒に京都の薩邸に居た時仲間が酒を飲むで管を卷くといきなり鐵瓶を打ちつけて頭に蝶々のやうな瘤をこしらへた、コンナ事は毎日のやうであつたと云ふ

◉平壤學務委員會

平壤府學務委員會は十三日午後一時より府…(三)普通學校の增設… 業者に對する一般の感想如何(二)…

◉連絡船上陸客

十三日午前八時四十分釜山入港新羅丸…
十三日午後釜山入港壹岐丸…三等(百七十二名)…

京日案内
普通 一回前金一行三十錢 番外 一回前金一行六十錢 ▲申込後中途掲載中止の節は料金返戻せず

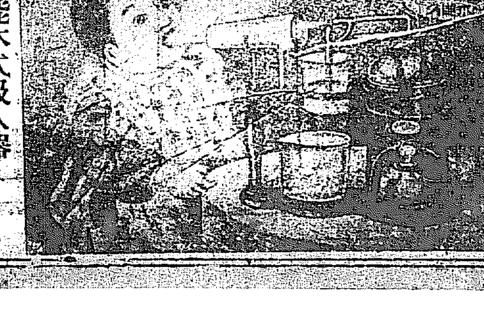
◉寫眞門生入用 十三歳より十七歳迄 新龍山 山崎寫眞舘 電話六一六番 602
◉讓室 下宿二階下共六室道具付客目下滿員最安價にて讓る 南米倉町二三六の一二 大野靜 913
▼進物用として日記帳類割引致ます 本町二●電一五二七●ウツボヤ書店 879
◉看護婦及見習看護婦數名入用 希望者は本人直接來談あれ 京城永樂町壹丁目 須古病院 908
◉金細工職人數名大至急入用 京城本町二丁目 金銀屋 電話長二二四九 888
◉讓店 有望地飲食店道具附安價にて至急讓渡し度し希望者來談を乞ふ 新龍山漢江通郵便局横手 梅一 891
◉讓店 賣藥化粧品小間物其他日用雜貨店にして獨特的の有利さと共に前途多望の老舖也 姓名在社 887
◉習字御手本類は何でも有ります(目録進呈) 東京市南神保町九 精華堂法帖店 872

門松卸賣 拂下山林にして最適當のもの特別廉價にて御相談に可應候 京城南大門通 電話三八六番 三輪商會 900
銃砲火藥 自轉車 京城 太田 公州 瀧川銃砲店 854
恩給年金 立替如何樣にも御便利 京城若草町一百六番 京城永樂町一丁目 西村商會出張所 825
株 成金愈々續出す 京城本町二丁目 大阪野村德七代理店 電話(長)九三番 田中古商店 836
恩給 年金立替月利壹步二厘五毛 京城南大門外 三年迄無保險 西鮮支店 京義線沙里院 即時 山口屋 843
銃砲火藥雜貨 京城南大門通三丁目 電話五八三番 藤木商店 856
酒 内地酒を凌駕する絶對無防腐の醇良酒で價格は内地酒の三分の一 京城府内前井町 電話一七七 中井酒造場 869
貸金 秘密に御相談に應じます 本町四丁目南へ二町入右側 京城大和町二丁目三十番地 貸金 山田 893
銃砲火藥 獵具 京城本町三丁目 電話二〇九二番 増戸銃砲店 755
角形石鹼元祖 京城南米倉町二八四番地 浦本石鹼工場 電話振替京城三二九四番 759
猪肉大勉強 極新鮮品著一斤匁以上御値段 京城明治町 電話一〇四二 御注文は電話迅速配達 石田本店 905
平壤成從栗は内地の土產物として美味なり御入用の方は弊堂へ御通話次第直に配達す當分一升以上定價一割引 本町二丁目京城銀行前 電話二七九七番 景氣堂
空間あり室内其他 湯殿設備完全親切丁寧 西大門中學正門前 電話二六二五 優翠旅館 906
質 弊店の特色は秘密を確守し完全なる倉庫の設備を有し勉強懇切に御取扱申候 支那領事館筋 電話一〇九六番 南質店 909

◎質 新町(寄り口)十四番地 武内質店 914
移轉披露 明治町二丁目電二三九〇 竹田出張所 910
移轉披露 明治町二丁目電二三九〇 竹田出張所 911
移轉披露 明治町二丁目電二三九〇 竹田出張所 912

新刊書御案内 書名 著者 定價
◉小學校地理教授の實際 角田政治 中野八十八 共著 一、五〇
◉法理評説 判例參照 實例引用 債權者の法律顧問 特一、八〇
◉法華經講義 下 本多日生 一、八〇
◉電燈及燈火照明工學 内坂素夫 二、五〇
◉鐵道見學歐米巡遊記 笠松慎太郎 一、〇〇
◉歐話文話 竹柏集 佐々木信綱 一、〇〇
◉神秘主義埋れし世界 三浦関造 一、〇〇
◉一喝 禪 中原南天棒 九〇
◉うたひの姿 島の巻 梅若萬三郎 一、二〇
◉陸海軍人除隊後の方針 伊東祐殺 六〇
◉名士立志傳 秋野村夫 五〇
◉相馬誠忠録 岡本富衍 三〇
大阪屋號書店 京城本町二 電話二〇八六番 振替京城三五番

信用ある東京日野製靴特價提供 特撰せる材料と熟練せる技術とを以て入念に調製し一般より實用向紳士靴として最も好適也 御注文の節は足型及代金御送付被下度 ボックス皮編上 ボックス皮深 ゴム 最新型目録進呈す 東京府下 日野製靴店


久能木式吸入器 壹具特價金武圓
久能木式安全吸入器
ピクトリヤ月經帶
朝鮮特約發賣元 山岸天佑堂器機部 京城本町一丁目

……[illegible]議委員二名を召集し府廳樓上に於て諮問會を開會せり當日の諮問事項は
（一）現今に於ける一般の民情如何
（二）現今各地に於て補助貨の拂底及……する意見如何等にて府尹の外に山下荒木兩主任書記、杉浦庶務次席等出席し第一案は總督更迭に關する一般……を見ざるべく又長谷川新總督は曾て駐劄司令官として朝鮮に在任したれば朝鮮の事情に精通され居るは云ふ……だ精査せざれば彼此……ざれど本年は鮮人側の景氣頗る好況にして懐中の豐饒なる迄に二三年來……る空地を選定……を設置するの必要あるを認むとし午後三時散會せ……の出席に府廳側よりは府尹、庶務財務兩主任書記、庶務次席書記、學務係等列席して（一）普通學校及同卒……は種々の答案的意見……するを得ず翌十三日午後一時より再び引續き開會し四時閉了せり（平壤）

……二等（三十名）……勝佐久良源太、大岡純一郎、若林ひで、矢次良一、山田澄吉、同吾枝、近衛……田中勇次郎、室直二、坂谷貞一、河部新……次郎、小國彌太郎、末岡小太郎、山田利七、坂本良太郎、郭子鳴、支那人三名、露國人七名、三等（七十九名）……宗村直行、同ます、同あや子、同たま、高橋利吉、西川馬四郎、小野和市、足立四郎、山田登、村上第一、村上外治、杉山文七、堀内四郎、陳耕星、中村ゝら子、遠山近吉、原田米吉、同よし、早川榮太郎、木島友吉、中村みつ

カーゾン卿夫人

◉元氣に充ちた人々
英國新内閣の閣僚は新手揃ひ 美人で評判の新海相カーゾン卿夫人

英國新内閣の顔觸れを見るに中には從來政事上立派の經歴を持つた人達も居るが其の多くは新進政治家であつて恰度幕下十兩力士が俄かに幕に入り

▲急に三役に まで上つたやうな感じがする英國も目下の處戰爭には餘程苦しんで居るらしいが殊に獨逸の潜航艇の跳梁と食糧品の缺乏物質の暴騰などは如何にしても戰爭を早く有利に片付けなければ成らぬ羽目に迫まつて居る今度獨逸から講和の議が持出されたがまだ英國ではそれを承知するやうな事は有るまい英國の覺悟は

▲最後の勝利 を得なければならぬそれには新らしく大手腕を有する新進の政治家を各方面から網羅して擧國一致の内閣を組織しなければならぬと云ふ處から今度の内閣は成立したのであるから講和は勿論英國の耳を貸さざる處であらう首相のロイド、ジョーヂ氏はウエルス出身の政治家で一時は非常に敵の多い人で隨分評判の惡い人であつた南阿戰爭の際なども

▲非戰論者の 巨魁で猛烈なる反對運動を爲た人であつた熱烈なる雄辯と横溢する元氣を持つた政治家である千九百五年バーナーマン氏の自由黨内閣の商務大臣となり千九百八年アスキス氏の内閣に大藏大臣となり昨年五月軍需大臣となり次で陸軍大臣となつたが今では英國政界は此の人がなければならぬ程に成つて居る樞密院議長

▲カーゾン卿 は永らく印度總督に任ぜられて居つた人で今度の内閣中ではロイド、ジョーヂ氏と共に政治家として經歴を持つた人である無所管大臣ミルナー卿は彼の有名なるヂョンモーレー氏の下でボールモルガゼットの記者として働いて居つた人であるが其後南阿戰爭の際喜望峰殖民地總督となつた事が有る

▲大なる手腕 を有する法律家であるボナー、ロー氏は保守派の領袖株で一寸日本で云ふと原敬とも云ふべき人である元スコットランドの金物商であつた海軍大臣のサー、エドワード、カーソン氏は進歩派の領袖で愛蘭自治問題の際など隨分政府を手古摺らした人であつた印度事務大臣のエム、バーレン氏は有名のチャンバレン氏の子息で永い間政治家として

▲相當の位置 を占めて居つた人である外務大臣のバルフォーア氏は保守黨の領袖株で又有名なる哲學者である此の他從來二流三流の政治家で一躍して國務大臣と成つた人もが多いが各派からすぐり抜いた敏腕家揃ひであるから英國上下は多大の希望を

▲新内閣に緊 けて居る事と思はれる新内閣の海相カーゾン卿の夫人は有名な美人で社交界の花形と謳はれてゐる

◉悲しき納棺式
故公爵の永別

大山公の納棺式は十三日午後二時より行はる靈柩西洋館樓上の寢室より出づるや西郷寅太郎侯先導喪主柏中尉故元帥の軍刀を捧げて柩後に隨ひ捨松未亡人以下黑木大將大迫上原井口伊集院の親友隨從日本館の大廣間に入り最後の永別を爲したる上棺に納め安置し雪洞一對と其他供物を供へ告別拜禮を訖り午後五時更に二名の佐尉官靈前に奉仕し故公生前好める種々の供物を爲し厳かなる柩前祭を行ひ六時式を終れり猶國葬當日は午前七時柩前祭を行ひ同三十分出棺靈柩は日比谷公園迄は砲車にて同處より上野驛迄は馬車にて運ばるゝ由（東京特電）

大山元帥
▽百戰の將軍 此の風流
金州城外朝日櫻

大山元帥の花も實もある物語りの數ある中に之れは明治二十七八年日清の役に元帥は征清第二軍司令官として遼東半島の各地に轉戰し旅順口の天險も

◇僅か一日 の攻撃にて我手に占領せられたる後大山大將の軍司令部は金州城内に於て冬營する事となつた大將は殊の外に此の附近の風致を賞せられ金州城外の大和尚山の別名山貌を此上なく愛して大和尚山の名を取つて雅號とされし程であつたが翌年四月内地より吉野櫻を五本取寄せて自から記念の爲めに金州城内に植付け旭櫻と命名し大和の花を唐山に咲き匂はさんとせられたが平和克復して遼東半島も還附する事となつたので大將の軍も

◇金州城を 引揚げて凱旋する事となり大將は手栽ゑの櫻花に別れを惜しみて

栽置きしわれは大和に歸るとも千代まで匂へ山さくら花

と詠ぜられ軍人の中又は緣故の者より詩歌を徴されたが大將の優にやさしき此の物語を傳へ聞き吾れも〳〵と詩歌俳句を寄せたのが旭櫻と題して一卷を成した詩歌を寄せた

◇人々の中 には當時の第二軍參謀藤井將軍（義太）の

唐人も花咲ごとにあふくらむ朝日の影のたかきめぐみを

當時の第二軍司令部法律顧問有賀長雄博士に

敷島のやまと心を此國にうつして匂へ山櫻花

川村宗五郎將軍は當時第二軍兵站監部副官であつたが

唐土に殘すいさほはげに今もにほふあさひの櫻なりけり

井口大將も當時參謀（少佐）として軍に從ひ

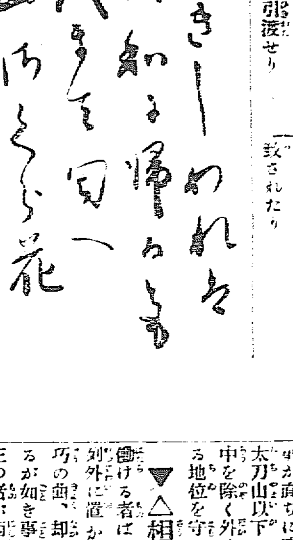
栽し人のいさほと共に巍とせか旭に花のさきにほふならむ

の和歌を詠じて寄せ當時の參謀長たりし井上光將軍は

百戰功成四海靖、風流更記將軍名、長教遐域仰皇化、駐馬手栽朝日櫻、

の詩を賦して寄せられた

◇斯る風流 の元帥は更に人並勝れた寛仁大度の處有り曾て元帥が沼津の別墅に病を養ひて居らるゝ頃公の別邸附近に居住し居る某と云へる者巧みに公の書を贋造し頻りに市に售る者有り公の近親其の男を捜し出して酷い目に遭はしてやらうと敦まくを公は之れを押止めて「棄てお け、予の書を眞似て一人の者が口を糊する事が能きれば此の上もない結構な事である」と云はれたといふことである



大山公書　＝記事參照＝

◉狂人、病院で暴れ出す

十三日午後一時頃京城南大門通五丁目セブランス病院に自稱金南陰坡那南花面公昌里生れの金鳳洙（三四）といふが入り來り一腑の具合が惡いから診察して下さいと云ふより同院にて診斷の結果稍精神に異狀あるを認めたるも同人は所持金十七圓あるを以て入院加療したしとのことなるを以て普通患者と同室に收容し置きたるに午後九時頃に至り發作したるものか他の患者に對し亂暴を加へて手に負へず急報に依りて本町警察署南大門派出所より警官出張取鎭めたるが暫時にして又復暴れ出すより同院にては徹夜大警戒をなし十四日早朝に至り本町署に其旨届出でたれば行路病者として府へ引渡せり

◉電車と衝突す

十四日午前十時十分頃京城電氣會社の九十二號電車が黄金町四丁目を光熙門に向け進行中黄金町三丁目李秦鎬（三二）が荷車に古材木を滿載して車前を横斷せんとしたる際衝突轉倒したるも別に異狀なしと

◉共謀して窃盗

去る十日帆船琴平丸は北鮮より當地へ魚粕肥料を積載し入港したるに同船乘組鮮人全羅道生れ李億祚外三名共謀して十一日の夜二十叺（價格百圓）を窃取し牧の島肥料製造業加藤牛太郎及び同所矢藤新助に賣渡したること十三日荷役の際發見し犯人は直に取押へられ贓品は全部釜山署に引上げたりと（釜山）

◉料理人の惡事

京城樂園洞居住朴斎俊（三〇）は六年前より明月館の料理人として雇はれゐたるが昨年七月より本年七月頃迄に前後十數回に亙り明月館の用具なる洋皿四十三枚珈琲飲み十三個西洋皿五十四枚其他合計百四圓餘の器具を自宅に持ち歸りて隱匿したるも發覺せんことを恐れ鷺梁津なる李秦燮方に預けたること此程發覺して朴斎俊は鍾路警察署に引致されたり

◉興味ある春場所（二）
▽東西の入替へ ▽新番附の豫想

場所が終ると同時に協會によつて番附編成され秘藏されてゐた春場所の新番附が根岸の手に移り年内に印刷を終る事となつたさうだが同時に東京通信と稱する

▼△新番附豫想 が朝鮮の五六の新聞が掲げてゐたがそれは僕等の想像してゐる意見とは大分懸隔があつた、所謂その東京通信なるものゝ番附は此處に記す事は避けるが悉々の斯くあるべしと豫想する所は東西の入替りのあるのは勿論である新東方は

▼△太刀山鳳の 正副大關小大戸平の關脇までは動かぬ所、小結玉手山、筆頭石山二枚目大蛇潟から濱砂石、黑瀬川浦の濱、鶴波、大鳴門、紅葉川、寒玉子、土州山、緋島、鳴門洋、柏戸、八甲山、千葉ケ嶽、琴ケ浦の順序で幕下陷落は稻穗、明、新西方は西の海の横綱、大錦の大關は

▼△前場所通り だが栃木山一枚昇進して關脇となり對島洋は二個の勝星を殘しながら張出關脇に廻るべく兩國と九州山は入替つて九州山の小結に兩國の筆頭、二枚目が宇都宮それから小常陸、綾川、源氏山、大の川、逆鉾、梅ノ川、岩木山、宮城山、釋迦嶽、四海波、紫雲龍、龍ケ崎、近江富士

▼△次に新入幕 の一港、駒泉、大門岩といふ順序となる、幕下に蹴落されるのは朝緑、稻葉嶽、玉の川だが此の内で噂のあつた近江富士の引退が事實となつて現はれるば差引二番の勝越だが八日間奮闘して幕の内とも顔が合つてる幕下三枚目の勝の川が

▼△その補缺と して一時新西方へ入幕するかも知れない此顔觸に假定して春場所を想像すると東西の均衡がます〳〵よく取れて來たが直ちに感ぜられる即ち新東方は太刀山以下の全員を見るに四五の連中を除く外は何れもその與へられたる地位を守つて

▼△相當の餘裕 を保つて働ける者ばかりである、元氣力士の例外に置かれる四五の者と雖も老巧の曲、却々容易く星を敵手に委するが如き事はない、唯三役にゐる二三の者が西方の精鋭に當つてよく奮闘が出來るか何うかが危まれるが星取の總計算は中堅以上に多くの

▼△休場力士が 出來ぬ限り新東方に多くを占める事は確かだらうと思ふといふのは新西方には成程出羽の海部屋の俊鋭が轡を揃へてゐる中堅以上は非常に鞏固な實力を備へてゐるけれども殆んど幕内力士の實力を全く失なつた老朽が止まつてゐるのが

▼△星を奪れる 原因となるべく、之れがために餘程歩の惡い結果を來すだらうと思はれる、然しながら其處に又一つの興味を保留して置きたいのは老朽とは言へ戰場往來の老勇士が風前の燈火にも似た自己の地位を支持するために新進の荒武者に對して何れ丈の力を出すかといふ事である（おほり）

▲目下露都へ行く途中のゴンダッチ沿黒龍江總督は一寸毛色の變つた人物で▲旅行好きで活動好きで、一寸の間もジッとはして居られないといふ形其旅行も隨行員や副官を連れて歩くのぢやない▲獨りボッチで時には二等室にでも這入り込む、辻に立てば一區幾十哥の辻待馬車に飛び乘りて平氣で馬車に話しかける馬車屋も面白い伯父さん位に心得てツイらぬ事まで喋舌つて仕舞ふ▲露帝陛下の御璧『目出度き權威ある人』が、サッサと消防の火の見櫓に攀上る、火事も無いのに半鐘敲いて消防夫を慌てさせてこれで消防の檢閲だと濟したもの▲小學校へノコ〳〵這入り込んでは教授振參觀と來るので面喰ふ向もあるといふ（哈爾賓通信）

贈答品には ちゝぬ銘仙

色白く艶麗に輝くばかりの美人となる………

歳暮の御進物に

アレを防ぐ高貴化粧料

ホーカー液

朝の洗面後に、夕の入浴後に一滴づゝお用ひ下さい

□御參考□
■色を白く、キメを細かにし
■アレを防ぎ、色艶を好くし
■白粉下、トキ水によく
■子供衆の皮膚を丈夫にし
■生れつき色が白いやうに見せ
■紳士の髭そり後に適す

定價		送料
大瓶	八十錢	内地朝鮮
中瓶	四十錢	無料
小瓶	二十錢	

全國到る處の小間物化粧品店に販賣す若し品切の節は本舗宛直接振替又は三錢切手代用にて御注文を乞ふ

本舗 堀越嘉太郎商店 東京神田和泉橋 電話神田一四三、一四四、一四五 振替東京一一四六

會員募集
銀行會社商店員養成の講義錄
本會は最新實務家養成唯一の機關なり卒業者は就職望次第目下入會の絶好機最大特典を供見本付會則進呈
東京牛込區西五軒町 銀行會社事務講習會

歳暮賣出し
食糧品一式
本年の御贈答品は物價騰貴の折柄種々撰擇の結果廉價にして且輕便なる好適品珍種を取寄容器に至ては最新新なる優美品を取揃へ申候間御用命被下度奉願上候
京城本町三丁目 内外各國食糧品商 森川商店 電話九三五番

各種萬年筆即時修繕◎
新式機械と熟練せる職工により如何なる部分も即時修繕仕候定價送呈
京城旭町二丁目六番地 東京パイン萬年筆出張所

十二月十一日より三十一日迄
福袋付歳暮大賣出し
御買上金壹圓毎に不公平無く差上候
京城本町二丁目 松菊屋小間物店 電話二四六三番

第六十五回勸業債券 四分五厘利拾圓券 月賦賣出 割増金貳千圓附 月賦金壹圓也
京城府若草町百六番地 報國公債株式會社朝鮮支部
○月賦購入第一回申込金壹圓也拾壹ケ月拂込利札附振替京城六五九番へ

日韓書房 新版報告
笛岡清線著 水戸黄門言行録 定價三十錢 送料四錢
原吉川共著 普通文官受驗提要 定價七十錢 送料十錢
森田草平著 虚榮の女 定價一圓十錢 送料十二錢
大日本國民中學會編 祝祭慶弔式辭演説一千題 定價一圓 送料十錢
橋本留喜著 新式自習辭典 定價五十錢 送料十錢
京城南大門通二丁目 電話一四〇番 振替一五一一

國産 サッポロビール アサヒビール サッポロ黑ビール
歳末年始御進物用最適品
清凉飲料 シトロン リボン印
半打、一打入化粧箱並に切手調進
大日本麥酒株式會社

怒濤の月

二十二　小林蹴月作　武内桂舟畫

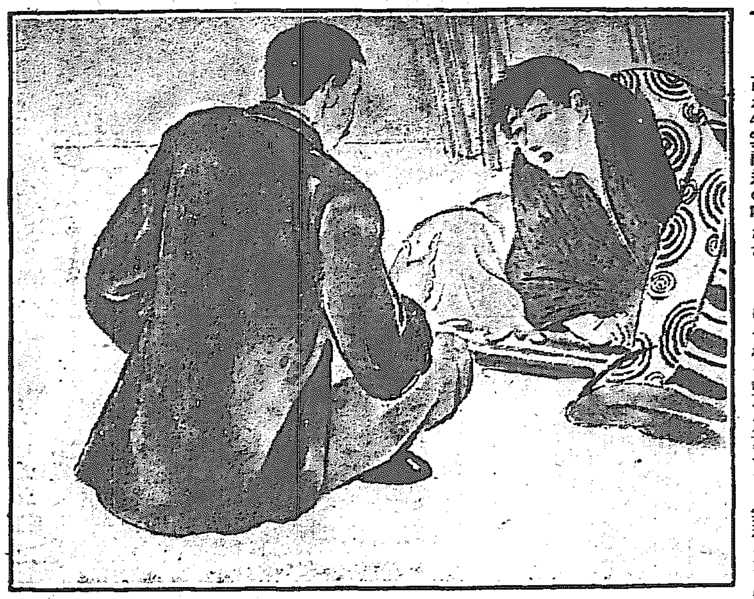
間一髪『五』の二

『なに、絹代の精神と云ひ肉體も共に、虚榮と云ふ罠に喰ひ込まれて了つたんですつて……うツ』

幸三郎は、我と我が頭の中心を掴み潰しでも爲るかのやうに、ぎゆうと抑へて、眼の光を變へながら椅の上に坐り直つたのである。

『まあ、君、思ひの外空氣が冷れるから、禁ても出すと不可よ。』と、一雄は、徐かに夜具の襟を幸三郎の肩先へ掛けて遣りつゝ、

『……蹄が牛乳配達の階だから、



頭から尻尾まで殘らず信用する事は出來んけれどもね、君、絹代さんの昨今を概括的に言つて見るとね、殆んど若い女の希望と云ふ希望を何一つ滿足させぬ事のないほどに、贅澤と我儘を盡しとると云ふ有様だから驚かざるを得んぢやないか。能く口に『今日は帝劇、明日は三越』なんかんて洒落てる連中もあるやうだが先づ第一に主人公たる花泉男爵閣下の、絹代さんを寵愛方と云ふものは筆舌の外なんだよ。是も或は仰山過ぎた吹聽かも知れんがね、男爵は何でも絹代さんの爲めに、邸內へ新たに一棟の西洋室を建築して、其處を絹代さんの居間に充てるんだとか云つて、既に設計圖までも出來上つたと云ふ噂さ。寧ろ不思議と云ひたい位のもんだね。だからね、君、過去の事なんかは、總てうたかたの泡と斷念めて了つて、更に大丈夫の魂を斷安すべき新領土を開拓すべしだよ。絹代さんばかりが何も女ぢやありは爲まいしさ。はツ、は、は、氷解したらう、君。』

最初から、幸三郎の境遇に、滿腔の同情を表して居る一雄は、彼自らも言ふ通り、內々手を廻して、絹代の現狀を探つて見ると、彼の女は正しく既に花泉男爵の最上無二の寵愛の花として、榮華の結晶物となつて居るらしいのである。左すれば、今更にそれを兎や角言つて、無理に引戻して見た所で、一旦瑕瑾の入つた名玉――縱令それがどんな名玉であつたに爲ても――が、最早復び舊の如き美しい完全な光輝を放ちやうがないではないか。如かず、幸三郎の心機を一轉せしめて、永久に思ひ切らせて了ふのが、幸三郎それ自身の幸福であり又、自分が友人としての親切も届く譯であると、所謂一雄一流の比較的單調な無造作な判斷力から割出して來て、どしどし病人の幸三郎を說破しやうと試みたのである。勿論その間に、微塵ほどの惡氣もなければ、煽動的の考へなどは、尚更有べき筈はないのであつた。

『……』

ともすると、顫へを帯びがちな唇を、固く一文字に緊んで、胸先へ綴ぢ付けたやうに兩腕を熱と組み合はした儘、心もち俯向きがちに坐つて只瞬きのみを忙しく爲て居た幸三郎は、此の時、僅かに膝頭を捻つて、打捨るやうな熱い息を壁の方へ吐き流した。

『倉橋君、異議はあるまいね。』

一雄は、自分ながら多少性急に失するやうな氣が爲ぬでもなかつたが言ひ出したからには、飽まで幸三郎の心機を一轉せしむるの必要があると信じたのである。

『……。』

幸三郎は、尚返答の語を漏らさうとも爲ずに居た。

『君、だから僕は彼れほど慨歎しちや不可、冷靜に物事を判斷せにや不可と、言つといたんぢやないか。假りに君、どんな手段を施してでも、絹代さんを此處へ連れて來たに爲た所で、蒂の腐つた柿の實はもう口に味はう事は出來やしないか。君の毎日使用とる此の畫絹だツて見給へ、一ぴ君が墨の黒點をクツ付けて了つたら、既う舊の淸淨純潔なる白絹には復しは爲んさ。愛のなき婦人と同棲する位なら、文展で落選した石膽の美人でも買つて來て、机の前に据ゑて置くべしだね。殊に況んや、君なんかは、天地自然の美酒に醉ひ、不朽無限の樂境に遊んで、所謂藝術の女神てふ淸床しい愛の懷ろに抱かれて居る身分なんだから、是位の事にくよくよするなんて云ふのは大なる方角違ひだよ』と、一雄は益々短刀直入である。

西洋料理、電氣すき燒、ハイカラ丼　おいしい京城第一との高評を博し居り候　南大門通　電話二五七一番　カフエータイガー

印章　名刺　●各種萬年筆修理仕候　京城本町一丁目　千代田號　電話一八三番　口座三三二三番

歲暮栗券大賣出し
(◎)寒さの折も温いのを召上ることが出來ます
特色 ◎御入用の分を電話一八五二番へお掛け下されば速達致升
栗券
京城旭町一丁目　元祖　玄武堂

クリスマス用歲暮用全部品揃
玩具は……北陸堂
京城本町郵便局前　電二四八七番

水原華城會俳句輯

斧評　紀伊途閣庵迅轉宗匠選

秀逸

一つ宛燈明る丶也千松島　如竹
鳥瓜枯木に見るや暮の秋　秋風
燈明の燈籠更けて渡り鳥　仙骨
水村の灯も疎ら也渡り鳥　饅石
網高く干した漁村や渡り鳥　同人

五客

夜綿深く瀬戸越に哀し消舗哉　昇仙
濃き影や沃野千里を一と包み　秋風
朝風や國旗ひらめく菊佳節　風來
湍風の日和な鳥の渡り哉　五曉
舟夢まで哀ろ秋や散る柳　秋風

三光

天　あれ一羽指揮官らしや渡り鳥　一山
地　寄る世を押へて秋葬れに兆　知足
人　鈍と放つ弓響きや散る御　仙骨

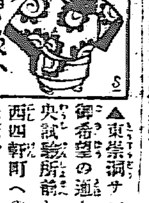
追吟

はらくと柳散る日となりに鳥　迅轉

新刊紹介

▲大日本國語辭典（第二卷）『文學博士上田萬年高等師範學校教授松井簡治共著』久しく其の出版を期待されたる本書は一般大出版物が動もすれば出版期日遲延の弊あるに拘らず公約を遵へずして今回其の第二卷を發賣せり而して第三卷は大正六年に第四卷は大正七年に出版し以て此の大著を完結すべき豫定なりと云ふ最も本書第一卷の一度世に出づるや完全確實なる最新的國語辭典として好評嘖々たり第二卷亦內容甚だ完備せるを見る本書は『ケコサシ』の五音の下に語源語法經濟用語より神事國語の外現代の新語法經濟用語より雅語新語迄可成懇切にして適當なる解釋を加へたるは著者の用意周到なるに敬服す又插繪の木版は三百五十個に及び中には『寢殿造』『紫宸殿』等の建物の詳圖の如き巧を殆んど人工の極致を盡したるあり本書は啻に國文學上の寄與たり家庭必須たるのみならず又國民の國語に對する趣味を喚起せるの事實あり今や全歐洲は戰亂の裡に埋れて文華の光甚だしく衰へたる秋に當り我國は獨り斯の如き國民的産物を出版して昭代文的の光輝を添ふるは吾人の一大幸福なると共に學者の眞摯なる努力の從々欽仰すべきを見るなり（四六倍版千二百五十頁插繪三百五十個背金美本定價七圓特價六圓五十錢送料各地方より神田區猿樂町金港堂）

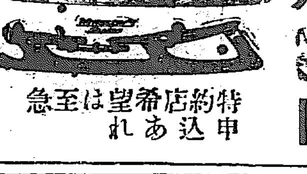
▲婦人之友（家計整理號）羽仁主筆の『生活難か生活易か』三宅博士の『女たしなめ貯金の仕方、借金の返し方、借金の害』其他家計の整理、節約に關する時節柄適切なる記事を滿載せり（二十錢東京府北豐島郡高田村婦人之友社）



▲東崇洞サンの御希望の通り中央試驗所前から西四軒町への豫定道路の一日も早く開通せられん事を願ひます今の儘では訓練院の新築小學校へ通學の兒童は誠に困難します（四軒町生）▲此前黃金館が『紅涙』を出したら大正館が『涙のあと』を上塲したそしたら黃金館がまた『涙の判決』を出したよくよく涙の種は盡きぬものだ哩（〇〇生）▲獨逸講和提議に付き御社の敏速なりし號外に依り既に電報を以て大阪に商品の注文を致す可きを差控へ候處今日取引先より商品下落の電報を受取損害を未然に防ぐを得海に感謝に不堪一言御禮申上候（一商人）▲黃金町から鐘留屋町へ抜ける道で自轉車が被衣を被つた朝鮮人の女に衝突した被衣を被つて居た爲めベルが聞ゑなかつたそうだが被衣は廢する事にしないと危險だと思つた（半開明）▲有楽詞壇へ御投稿の方は題毎に用紙を別にして御同封致さるゝも差閊へなし（係）

廣告

新荷著廣告
米國製最新式
スケート



定價表無代進呈
特約店希望は至急申込あれ
京城本町二丁目　篠崎運動具店
電話一三〇三番　振替四六八番

一番よくきく
アレ止めには
クラブ洗粉
本店謹製の
美身クリーム
クラブ美身クリームは素顔の美を増し白粉の附きを良くする品質第一のアレ止め兼用美身劑にして畏くも
皇后宮職御用品たるの光榮を忝うしつゝあり

最高滋養
フェロール
フエラトーゼ代用に創製せる新輸入最高滋養劑にして効果本品に及ぶもの無し
各病院推奬の御用品にして其美味は如何な藥嫌ひ婦人小供方にも飲み安し
▲專家適應症▼
貧血、虚弱、精力減退、老衰、産後、神經衰弱、病後、肺病、消化不良凡て滋養分必要の諸症
定價　大瓶廿日分　壹圓七拾錢　中瓶十日分　壹圓也　試用二日分　貳拾錢也
●各藥店にあり御買捌なき地方は本舗へ注文あれ

大阪道修町　製劑　本舖
小西久兵衛
振替口座大阪一九一番

佐賀縣三養基郡基里村
結核專門
古賀病院（中原驛前四丁）
醫學博士　古賀玄三郎診察
診察期日（十二月廿九日廿一日迄一月三日より七日迄）午前中

りん病
ばい毒
請合藥
新販賣所　南大門外停車場通り　ドラ、ツク商會滿鮮本部
詳細ハ昨日ノ本紙ヲ御覽ニ相成リ度

あるやゑサイキ藥
ナオル
即治保証
京城本町四、紙卸小賣　京城一手販賣　江里口勇三
釜山大廳町二、學校前角　製造元　釜山藥品商會
每月大阪二十錢〇小瓶十五〇送料無料

寫眞
寫眞出張撮影　寫眞銅版、亞鉛凸版　最も熟練せる技術を以て迅速と叮寧親切を旨とし御需に應じ低廉に可仕候
京城日報社　寫眞製版部

かぜつねの最良藥
カキヤピリン
よくきく良藥なり
かぜは藥。必ず本劑を服し定て常に家庭に備ゑ少しでもかぜの氣味あらば彼是と手遲せぬ樣直ぐ服用せよ
●面白い程効あり　●小兒には專用の小兒カキヤピリンあり　●アンチピリン、アスピリン等の類似の他品あり
御注意　藥價　五錢●十錢●廿錢●一圓
名古屋京町二　本舗　荒川長太郎
●全國各藥店にあり

大日本優等清酒
白鶴
品質純良
衞生無害
醸造元　攝津灘御影町　嘉納合名會社
發賣元　京城本町二丁目廿番地　前田酒店
電話一三七番　振替口座四二五番

价川輕便鐵道 列車時間表

价川發	前六、〇〇	九、〇五	後一二、〇五	二、四〇
新安州著	前七、五五	一一、〇五	後二、〇〇	四、三四
新安州發	前九、一〇	後一二、二〇	後二、四五	五、三〇
价川著	前一一、〇三	後二、一二		四、三七	七、二八

朝鮮郵船出帆

本社 電話長一九五二番二三二番 支店 出張所 代理店 荷客取扱ニ付テハ京城南大門驛前 京城荷客取扱店 松原運送店（電話一七七番）
京城より各港荷物取扱

○全羅丸 十二月廿六日 釜山發
○京畿丸 十二月十六日 釜山發
○黃海丸 十二月廿一日
○成鏡丸 十二月廿日
門司より釜山各港寄港
○穩城丸 十二月十日 元山發
○昌平丸 十二月二十日 元山發
○鏡城丸 十二月十四日
元山より各港經由浦鹽行
○平壤丸 十二月十九日 元山發
城津、清津、雄基、浦鹽寄港 浦鹽より門司又は長崎行
○盈德丸 十二月十六日 釜山發
甘浦、九龍浦、浦項、各港寄港、蔚山經由
○江陵丸 毎日 釜山發
○襄陽丸 浦項發
長生浦方魚津寄港
○三浦丸 十二月十七日 釜山發
長承浦、巨文島、麗水、濟州島、各港
○海州丸 ○巨濟丸 毎日 釜山發
○統營丸 ○慶寶丸
各港經由統營、三千浦、麗水行（三日目毎一回）
○順天丸 三日目毎一回 木浦發
各港經由麗水行
○慶興丸 十二月十六日 木浦發
各港經由濟州島行（西回）
○慶興丸 十二月廿二日 木浦發
南多島、濟州島行（東回）
○公州丸 十二月十九日 木浦發
各港經由濟州島行（東回）
○宗信丸 十二月廿二日 仁川發
海州他各港經由鎭南浦行
○江原丸 十二月二十日 仁川發
芝罘、大連、青島行
○晉州丸 十二月十八日 仁川發
○麗水丸 十二月廿一日
各港經由木浦行
○全州丸 毎日午前 仁川發
○南陽丸
江華島、喬桐島、海州行

日本郵船仁川出帆

○大連行、秦皇島行
三河丸 六年一月一日 正午出帆
和泉丸 十二月廿一日 正午出帆
高砂丸 十二月廿一日 正午出帆
○芝罘、大連、青島行
江原丸 十二月十八日 前十時出帆
仁川海岸町一丁目 電話十一番 堀回漕部

尼崎汽船仁川出帆

群山、木浦、釜山、下關、神阪行
○大有丸 十二月廿二日 後四時出帆
○秀吉丸 十二月 日後四時出帆
○君が代丸 十二月 日後四時出帆
○神代丸 十二月二十日 後四時出帆
仁川海岸通一丁目 電話五十九番 杉回漕部

大阪商船仁川出帆

○外航路所屬航路並洋航路を除く以て運賃切符發賣の時は五分引を以て連絡切符を發賣仕候

○群山、木浦、釜山、馬門、神阪行
大智丸 十二月廿三日
安東丸 十二月十七日 後五時出
安州丸 十二月十九日
×木浦、釜山、周原、宛の浦、長崎行
信濃川丸 十二月 日 正午出帆
信濃川丸 十二月卅一日 後二時出帆
×群山、釜山、松濱行
福州丸 十二月十八日
福州丸 十二月廿七日 後二時出
×木浦、釜山、馬門、神戶、大阪行
天智丸 十二月十三日 正午出帆
○鎭南浦、大連行
信濃川丸 十二月廿六日 後二時出
信濃川丸 十二月 日
○福州丸 十二月 日
福州丸 十二月廿二日 正午出帆
×鎭南浦、神戶、大阪行
須磨丸 十二月 日 正午出帆
△清津、浦潮行（元山出帆）
○印、八城津、西湖津、ニ寄港浦潮不寄港
○安平丸 十二月廿五日 後二時出
△宮島丸 十二月卅一日 後二時出
○上海、基隆、打狗行（大連出帆）
○湖北丸 十二月十五日 午前六時
基隆丸 一月 一日 午後四時出

御注意 ●當社航路及び南滿洲鐵道會社との聯絡切符發賣致候●荷客御取扱所●本船の寄港は都合により變更することあるべし

切符發賣所 大阪商船會社仁川支店 電話三二八番 二番
京城切符發賣所 內國通運會社支店 電話七〇〇番

●中國四國各港外港船客に對し一割引致候 切符發賣仕候

商況

東京株式特電
八十四錢△先限寄付十七圓二十三錢

下關期米特電
▲十四日後場（大阪）[illegible]

▲十四日後場 ▲兵庫後寄十七圓二十三錢東京十七圓七十三錢大阪前止十七圓二十九錢後寄二十三錢の入金二筋三千錢下位と高移りにて當地第十二圓五十錢中十二圓六十六錢先十二圓七十三錢と二錢安に寄付たるも見越館にて上向の折り能く賣出したる爲め其他より賣向ひたるものありて上步調の折柄大阪の正高を受けて七錢と上伸し高値の盤七錢と賤合を告げたり市況は保合の間に依然底強き成行を示し居れり

▲全能く賣る
後場同店より賣りたる玉數六千餘石に上りたりとの事にて大に注目を惹いたり

▲下げ止まり乎
[illegible]

十二圓七十錢 水原玄米十二圓黃海玄米十二圓三十錢 延安玄米十二圓四十五錢 錢延安玄米十二圓三十錢 七十五錢同鉢別十二圓四十錢 [illegible]

平均 十二圓七十四錢
值段 十二圓七十五錢
十四日 十二圓七十六錢